

調査・事例報告

木曾町における観光客の動向に関する調査研究 (VI)

眞次 宏典・葛西 和廣・成 耆政・
横山 満・樋口 剛志・鈴木 尚通

Study on activities of visitors to Kiso district based on a survey in 2016

MATSUGU Hironori, KASAI Kazuhiro, SUNG Kijung,
YOKOYAMA Mitsuru, HIGUCHI Takeshi, SUZUKI Naomichi

要 旨

木曾町での観光客対象アンケートは、木曾地域の魅力を探るために2010年から実施してきた。2014年以降は松商学園高等学校商業科の教員および生徒の参加も得て、松本大学と松商学園高等学校の高大連携の一環として行ってきた。本報告書は、2016年7月24日(日)の11時頃から15時頃まで、木曾福島地区(足湯、上の段、代官屋敷)、日義木曾駒高原道の駅、木曾市場および開田高原アイスクリーム工房前で実施した観光客対象のアンケートによるものである。アンケート回答には332人の協力を得た。2016年のアンケートの結果を、御岳山噴火以前と以後との調査結果を比較すると、長野県内および愛知他隣県からの来訪者は増加しているが、他の都道府県からはいまだ回復には至っていないというものと考えられる。

キーワード

木曾 観光客 旅行 御嶽山

目 次

- I. 序
- II. 調査結果の分析
- III. 調査結果の比較分析(2014~2016年)
- IV. 結
- 文献
- 付録 2016年度アンケート票

I. 序

木曾町における観光客に対するアンケート調査は2010年から2012年までの3年間は、10月下旬に木曾福島地区、日義木曾駒高原道の駅および開田高原アイスクリーム工房前で行ってきた^{1)、2)、3)}。2013年の調査活動は休止し、2014年には、松商学園高等学校商業科の生徒と松本大学総合経営学部の学生が合同して調査を行う都合により、木曾町役場企画財政課および観光課と議論した上で、時期を7月に変更するとともに、新たに道の駅木曾福島(木曾市場)も調査地点に加えることにした。調査活動は7月20日(日)の11時頃から15時頃まで、木曾福島地区(足湯、上の段、代官屋敷)、日義木曾駒高原道の駅、木曾市場および開田高原アイスクリーム工房前で行った⁴⁾。当日の天気は晴れで、気温は福島地区では、21.9℃(11時)から24.9℃(14時)、開田高原では20.6℃(11時)から24.1℃(14時)であった。木曾市場からは、御嶽山山頂を望むことができた。

2014年9月27日11時52分に御嶽山が水蒸気爆発を起こした。当日は晴れで登山日和であった。山頂付近にいた登山者を中心に63名の方がその犠牲となった。私たちとしては、翌年も調査をした方がよいかどうか考え続けた。木曾町役場としては考え得る対策を町レベルでできることは実施し、県や国と協議しないとできない対策にも着手できていた。そのため、1周年の慰霊祭が開催されたことを一区切りとして、町役場と相談の上、2015年10月3日(土)に、木曾福島地区(足湯、上の段、代官屋敷)、日義木曾駒高原道の駅、木曾市場および開田高原アイスクリーム工房前で観光客に対するアンケート調査を行った⁵⁾。

2016年の調査は、松商学園高等学校商業科と松本大学総合経営学部が合同して、7月24日(日)に行われた。当日の天気は晴れで、気温は福島地区では、26.2℃(11時)から27.0℃(14時)、開田高原では22.2℃(11時)から23.0℃(14時)であった。

アンケートに答えてくれた来訪者(以下では、来訪者と略記)は合計すると332人であった。その内訳は、開田高原アイスクリーム工房前128人(38.6%)、日義木曾駒高原道の駅(道の駅日義)95人(28.6%)、木曾市場65人(19.6%)、木曾福島地区では44人(13.3%) (足湯15人、上の段20人、代官屋敷9人)であった。来訪者の性別は、男性183人(55.1%)、女性138人(41.6%)、未記入11人(3.3%)であった。来訪者の居住県は、長野県89人、愛知県129人、岐阜県32人、静岡県15人、その他(都道府県)67人であった。

長野県からの来訪者89人の中49人の方が居住市町村名を記入されて、その内訳は、松本市12人、塩尻市5人、安曇野市4人、伊那市4人、岡谷市3人、飯田市2人、駒ヶ根市2人、千曲市2人、上松町2人、木曾町2人、松川村2人、上田市1人、大町市1人、長野市1人、辰野町1人、南木曾町1人、木祖村1人、宮田村1人、山形村1人であった。

その他都道府県からの来訪者は、24人の方が居住都道府県を記入されていて、その内訳は、東京都7人、神奈川県6人、大阪府3人、富山県2人、兵庫県2人、埼玉県1人、千葉県1人であった。

以下では、2章で332票の回答を長野県内(89人)、愛知他隣県2県(以下では愛知他と略記)(愛知県129人、岐阜県32人、静岡県15人、合計176人)とその他都道府県(67人)の3つの居住地域に分けて集計した結果を分析する。3章では、今回(2016年7月)の調査結果と2014年7月、2015年10月のデータと比較して御嶽山噴火の影響について検討する。最後に、4章で今回の調査によってわかったこと等を検討する。

II. 調査結果の分析

来訪者の性別は、長野県では計89人のうち、男性38人(42.7%)、女性44人(49.4%)、未記入7人(7.9%)、愛知他隣県では計176人のうち、男性108人(61.4%)、女性67人(38.1%)、未記入1人

(0.6%)、その他の都道府県では計67人のうち、男性37人(55.2%)、女性27人(40.3%)未記入3人(4.5%)であった。

来訪者の調査地点別の比率を図1に示す。長野県(長野)からの来訪者は、道の駅日義44.9%(40人)、開田高原27.0%(24人)、木曾福島地区(足湯、上の段または代官屋敷)14人(15.8%)、木曾市場11人(12.4%)の順であった。愛知他隣県(愛知他)からの来訪者は、開田高原44.3%(78人)、木曾市場27.8%(49人)、道の駅日義18.8%(33人)、木曾福島地区(足湯、上の段または代官屋敷)9.1%(16人)の順であった。その他都道府県(その他)は、開田高原38.8%(26人)、道の駅日義32.8%(22人)、木曾福島地区(足湯、上の段または代官屋敷)20.9%(14人)、木曾市場7.5%(5人)の順であった。

開田高原では、長野県と比較して、愛知他は17ポイント、その他都道府県は12ポイント高くなっている。道の駅日義では、長野県の方が、愛知他よりも26ポイント、その他都道府県よりも12ポイント高くなっている。一方、木曾市場では、愛知他隣県は15ポイント長野県よりも高くなっているが、その他都道府県は5ポイント長野県よりも低くなっている。

これらの調査地点における比率の差異は次のようなことを示唆している可能性がある。開田高原の自然、そこからの眺望などは、県外からの来訪者にとっては、日常的に御嶽山や、木曾駒ヶ岳などを見

る機会のある長野県内からの来訪者よりも、大きな魅力となっていることを示している。道の駅日義の方が木曾市場よりも、地物の野菜や果物などを多く置いていて、そのことが県内の来訪者には魅力となっている。木曾市場においても野菜、スイカ、果物などが長野県内の他地域の特産物も含めて手広く販売されている。日帰りも可能な愛知他からの来訪者にとっては、それらの野菜などもお土産として魅力があることを示している。

1. 来訪者の年齢層

図2に来訪者の年齢層別の集計結果を示す。最も多い年齢層は、長野県からの来訪者では、50歳代と60歳代で22.5%(20人)、愛知他隣県からの来訪者では50歳代で26.1%(46人)、その他の都道府県からの来訪者では、60歳代で28.4%(19人)であった。40歳未満の割合は、長野県31.5%(28人)、愛知他隣県24.4%(43人)、その他の都道府県19.4%(13人)と、地元の長野県からの来訪者の方が他の居住地域からの来訪者よりも7ポイントから12ポイント比率が高くなっている。一方50歳以上の来訪者は、長野県55.1%(49人)、愛知他54.6%(96人)、その他都道府県50.7%(34人)と、長野県と愛知他がその他都道府県よりも4ポイントほど高くなっている。

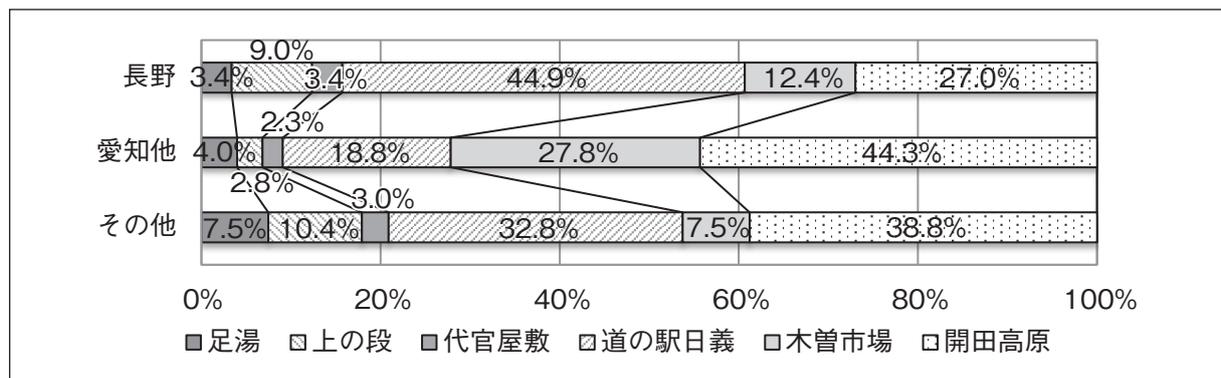


図1 来訪者の調査地点別比率

2. 旅行日程と主な立ち寄り先

来訪者の旅行日程を図3に示す。長野県からの来訪者は、日帰り86.5% (77人)、1泊2日7.9% (7人)、2泊3日が1.1% (1人) の順であった。愛知他隣県からの来訪者は、日帰り59.1% (104人)、1泊2日29.0% (51人)、2泊3日8.5% (15人)、3泊4日以上は2.8% (5人) の順であった。その他の都道府県からの来訪者は、1泊2日49.3% (33人)、2泊3日19.4% (13人)、3泊4日以上17.9% (12人)、日帰り10.4% (7人) の順であった。

宿泊を伴う来訪者は、その他86.6% (58人)、愛知他40.3% (71人)、長野県9.0% (8人) で、長野県から居住地が遠くなるにつれて宿泊をする比率が高くなり、宿泊数も多くなっている。

宿泊を伴う来訪者を対象に旅行日程の何日目かを尋ねた結果を図4に示す。長野県からの来訪者 (8人) は、1日目12.5% (1人)、2日目50.0% (4人)、未記入37.5% (3人) であった。愛知他隣県からの来訪者 (71人) は、1日目15.5% (11人)、2日目56.3% (40人)、3日目8.5% (6人)、4日目以上1.4% (1人)、未記入18.3% (13人) であった。

その他の都道府県からの来訪者 (58人) は、1日目22.4% (13人)、2日目34.5% (20人)、3日目15.5% (9人)、4日目以上8.6% (5人)、未記入19.0% (11人) であった。

調査日が7月24日 (日) であったから、どの居住地域からの来訪者も7月23日 (土) から木曾地域を訪れている人が最も多く、7月20日 (日) から訪れている人がそれに続いている。

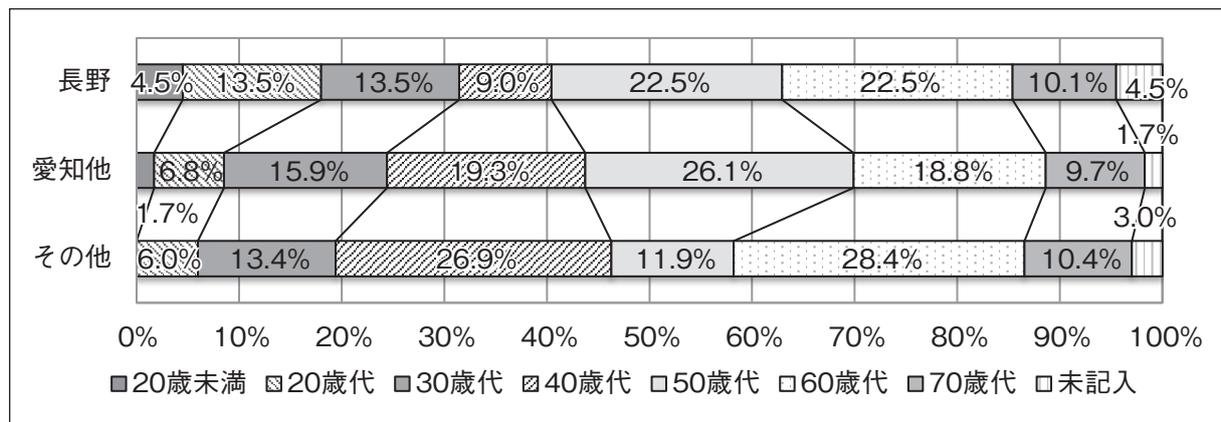


図2 来訪者の年齢層

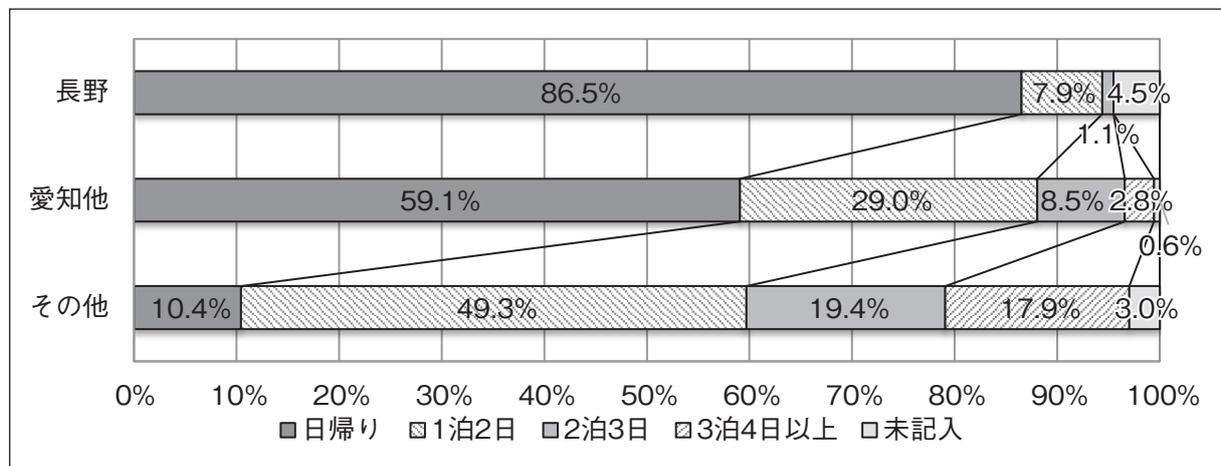


図3 来訪者の旅行日程

宿泊を伴う来訪者の1泊目の宿泊地に対する回答を図5に示す。

長野県からの来訪者(8人)は木曾町が50.0%(4人)、未記入50.0%(4人)であった。愛知他隣県からの来訪者(71人)は、木曾町28.2%(20人)、木曾町以外45.1%(32人)、未記入26.8%(19人)であった。その他の都道府県からの来訪者(58人)は、木曾町43.1%(25人)、木曾町以外29.3%(17人)、未記入27.6%(16人)であった。

愛知他からの来訪者は木曾町よりも木曾町以外に宿泊する比率が17ポイントほど高く、其他都道府県からの来訪者は木曾町に宿泊する比率の方が木曾町以外に宿泊する比率よりも14ポイントほど高くなっている。

長野県からの来訪者で主な立ち寄り先を記述し

た方は10人で、その一覧を表1aに示す。

愛知県他からの来訪者で3泊4日以上の方を除いた人(49人)の主な立ち寄り先を表1b-1に、3泊4日以上の人(3人)の主な立ち寄り先を表1b-2に示す。

其他都道府県からの来訪者(32人)の主な立ち寄り先を表1cに示す。

3. 現在地における滞留時間と旅行相手

来訪者の調査地点付近(木曾福島地区、木曾市場、開田高原および日義木曾駒高原道の駅)における滞留(予定)時間は332人の単純集計でみると、比率の高い方から、1時間未満(30.7%、102人)、1時間以上2時間未満(25.0%、83人)、30分未満(18.7%、62人)、4時間以上(9.9%、33人)、2時

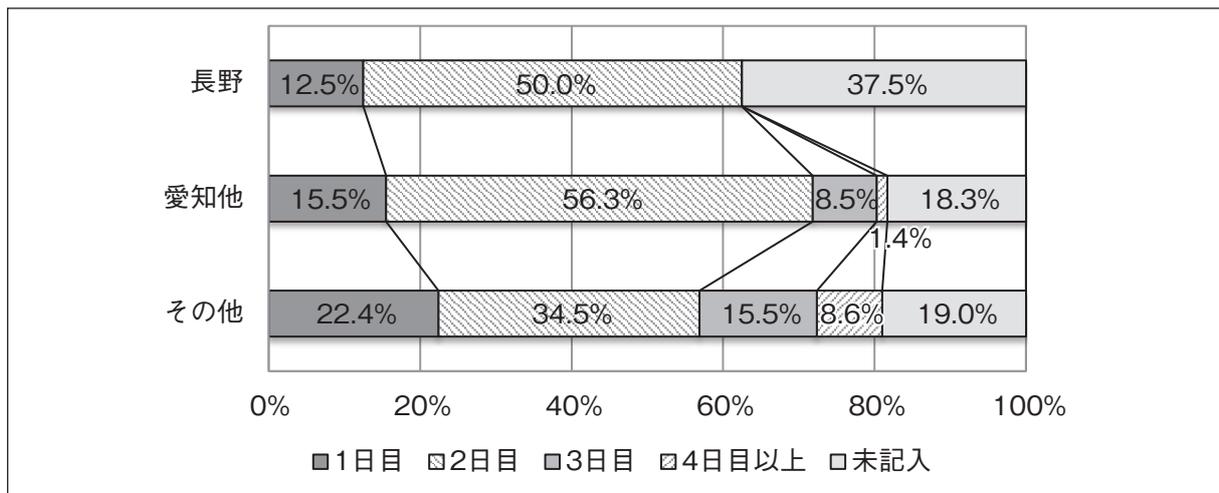


図4 滞在何日目か(宿泊を伴う旅行者のみ)

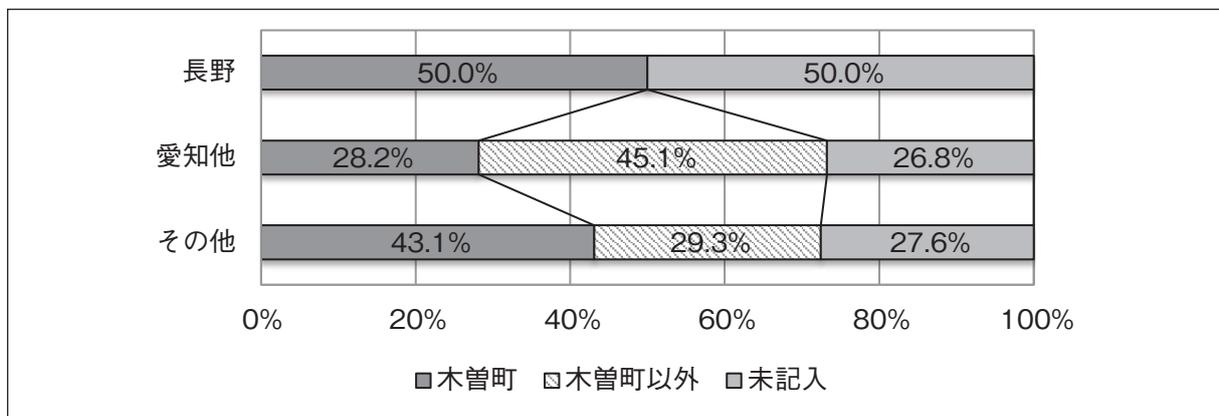


図5 1泊目の宿泊地

表1a 長野県からの来訪者の主な立ち寄り先

年齢	日程	1日目	2日目	旅行相手	交通手段
20歳代	1泊2日	お祭り	○足湯	家族(子連れ)	マイカー
20歳代	1泊2日	木曾福島	○開田高原	単独	その他
30歳代	日帰り	阿寺溪谷		夫婦	マイカー
40歳代	日帰り	開田		友人知人	バイク
50歳代	日帰り	駒ヶ根市		夫婦	マイカー
50歳代	日帰り	奈良井宿		友人知人	マイカー
60歳代	日帰り	高ボッチ高原、諏訪大社		職場団体	マイカー
60歳代	日帰り	開田高原		家族(子連れ)	マイカー
60歳代	1泊2日	飯田	○木曾町	夫婦	マイカー
70歳代	日帰り	趣味		単独	マイカー

表1b-1 愛知他からの来訪者の主な立ち寄り先 (日帰りから2泊3日まで)

年齢	日程	1日目	2日目	3日目	旅行相手	交通手段
20未満	日帰り	ビーナスライン			友人知人	マイカー
20歳代	日帰り	開田高原			カップル	マイカー
20歳代	日帰り	ビーナスライン			友人知人	マイカー
20歳代	1泊2日	日和田高原	○木曾町		家族(子連れ)	マイカー
30歳代	日帰り	開田高原			家族(子連れ)	マイカー
30歳代	1泊2日	あさひ町キャンプ場	○なし		家族(子連れ)	マイカー
30歳代	1泊2日	○木曾駒キャンプ場			家族(子連れ)	マイカー
30歳代	1泊2日	上越、白馬	○開田		友人知人	バイク
30歳代	1泊2日	高山	○開田		家族(子連れ)	マイカー
30歳代	1泊2日	長野県	○帰りに寄った		家族(子連れ)	マイカー
30歳代	1泊2日	白馬村	○開田		友人知人	バイク
30歳代	1泊2日	○松葉,やまめつり,やまゆり荘	ブルーベリー狩り,やまゆり荘,とうじそば		友人知人	マイカー
30歳代	1泊2日	松本城	○ビーナスライン		単独	バイク
30歳代	2泊3日	開田高原	藪原、こだまのもり	赤沢自然休養林	家族(子連れ)	マイカー
40歳代	日帰り	R19~R361~R41			友人知人	バイク
40歳代	日帰り	自由気ままに			夫婦	マイカー
40歳代	2泊3日	朝日村	無印キャンプ場		家族(子連れ)	マイカー
50歳代	日帰り	R19~R361~R41			友人知人	バイク
50歳代	日帰り	間田高原			友人知人	バイク
50歳代	日帰り	開田高原			友人知人	バイク
50歳代	日帰り	開田高原ブルーベリー狩り			家族(大人)	マイカー
50歳代	日帰り	上松			単独	マイカー
50歳代	日帰り	新そば			友人知人	バイク
50歳代	日帰り	福島町の街歩き			単独	鉄道(JR)
50歳代	1泊2日	木曾			夫婦	マイカー
50歳代	1泊2日	開田高原	○なし		家族(子連れ)	マイカー

50歳代	1泊2日	木曾福島	○高原		家族(大人)	マイカー
50歳代	1泊2日	諏訪ガラスの里	諏訪大社		家族(子連れ)	マイカー
50歳代	1泊2日	○御岳			ツアー団体	観光バス
50歳代	1泊2日		開田高原		友人知人	マイカー
50歳代	2泊3日	木曾馬の里			家族(子連れ)	マイカー
50歳代	2泊3日	水野駅	木曾	○代官屋敷	家族(子連れ)	マイカー
60歳代	日帰り	木曾町			夫婦	マイカー
60歳代	1泊2日	開田高原			友人知人	マイカー
60歳代	1泊2日	開田高原			家族(子連れ)	マイカー
60歳代	1泊2日	木曾福島	○なし		友人知人	マイカー
60歳代	1泊2日	○木曾町	松本		職場団体	マイカー
60歳代	1泊2日	木祖村こだまの森	○開田高原		友人知人	マイカー
60歳代	1泊2日	新穂高	○木曾福島		夫婦	マイカー
60歳代	1泊2日	万座、白根山	○帰り		夫婦	マイカー
60歳代	1泊2日	乗鞍	○白骨→奈川		夫婦	マイカー
60歳代	1泊2日	平湯	野麦峠		夫婦	マイカー
60歳代	1泊2日	継子岳	継子岳		その他	マイカー
60歳代	1泊2日		木曾町		夫婦	マイカー
70以上	日帰り	○御嶽山			友人知人	マイカー
70以上	日帰り	木曾福島			家族(子連れ)	マイカー
70以上	1泊2日	温泉	○なし		家族(大人)	マイカー
70以上	1泊2日	奈良井(帰省)			夫婦	マイカー
70以上	1泊2日	こだまの森	○開田高原		友人知人	マイカー
70以上	1泊2日	平湯	○野麦峠		夫婦	マイカー
70以上	2泊3日	御嶽山	みこしまくり	○	家族(大人)	マイカー

表1b-2 愛知他からの来訪者の主な立ち寄り先(3泊4日以上)

年齢	1日目	2日目	3日目	4日目	旅行相手	交通手段
30歳代	森林鉄道	黒部	木曾町	○木曾町	家族(子連れ)	マイカー
60歳代	長野市	○木曾			夫婦	マイカー
70歳以上	○安曇野	上高地	五竜		夫婦	マイカー

表1c その他都道府県からの来訪者の主な立ち寄り先

年齢	日程	1日目	2日目	3日目	4日目	旅行相手	交通手段
20歳代	1泊2日	○木曾福島	木曾福島			家族(大人)	マイカー
20歳代	3泊以上	伊那	福島	福島	○開田	家族(子連れ)	マイカー
30歳代	1泊2日	伊那市	○木曾町			友人知人	マイカー
30歳代	1泊2日	伊那市	○木曾町			友人知人	友人の車
30歳代	1泊2日	○木曾福島	開田高原			家族(子連れ)	マイカー
30歳代	1泊2日		○開田-高山			家族(子連れ)	マイカー
30歳代	2泊3日	木曾福島祭り	木曾福島祭り	○開田		家族(子連れ)	マイカー
30歳代	3泊以上	伊那	福島	福島	○開田	家族(子連れ)	マイカー

40歳代	1泊2日	伊那	○恵那			友人知人	バイク
40歳代	1泊2日	キャンプ	○木曾			家族(子連れ)	マイカー
40歳代	1泊2日	駒ヶ岳	○木曾路			夫婦	マイカー
40歳代	1泊2日	高山	○開田			家族(子連れ)	マイカー
40歳代	1泊2日	○奈良井-福島宿	妻籠宿、馬込宿、中津川			家族(子連れ)	マイカー
40歳代	2泊3日	清里	○木曾			家族(大人)	マイカー
40歳代	2泊3日	奈良井宿	しらびそ峠、下栗の里	○開田高原		友人知人	バイク
40歳代	3泊以上	移動日	御岳ロープウェイ	○木曾福島	木曾馬の里	家族(子連れ)	マイカー
40歳代	3泊以上	夜に到着	御岳ロープウェイ-開田	○木曾駒高原	木曾駒高原	家族(子連れ)	マイカー
50歳代	1泊2日	○開田高原	高山			夫婦	マイカー
50歳代	1泊2日	○ゴルフ	ゴルフ			夫婦	鉄道(JR)
50歳代	1泊2日	奈良井	○宮ノ越			家族(大人)	鉄道(JR)
50歳代	2泊3日	○開田高原	飛騨高山			夫婦	マイカー
60歳代	1泊2日	○開田				同級生	マイカー
60歳代	1泊2日	○開田高原				友人知人	マイカー
60歳代	1泊2日	○木曾馬	?			友人知人	マイカー
60歳代	2泊3日	木曾の祭				家族(子連れ)	マイカー
60歳代	2泊3日	十二兼-上松	○上松-蓼原	未定		単独	鉄道(JR)
60歳代	2泊3日	昼神温泉泊	○奈良井、福島宿-戸倉泊			夫婦	マイカー
60歳代	3泊以上	木曾地区	(別荘泊)			家族(大人)	マイカー
70以上	1泊2日	○ゴルフ	ゴルフ			家族(大人)	マイカー
70以上	1泊2日		宿場ウォーク			家族(大人)	鉄道(JR)
70以上	3泊以上	諏訪大社	上高地	○開田	善光寺	夫婦	マイカー
70以上	3泊以上	茅野市	茅野市	茅野市	○茅野市	夫婦	マイカー

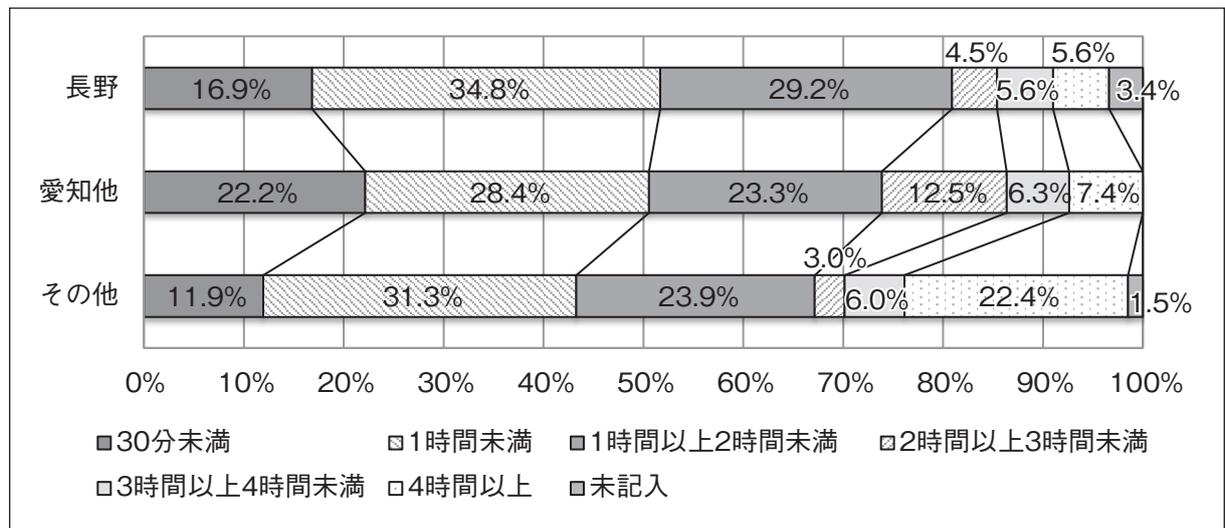


図6 来訪者の滞在時間

間以上3時間未満 (8.4%、28人)、3時間以上4時間未満 (6.0%、20人) の順であった。

居住地別の来訪者の調査地点付近における滞留(予定)時間を図6に示す。滞留時間が1時間未満の来訪者は、長野県34.8% (31人)、愛知他隣県28.4% (50人)、その他の都道府県31.3% (21人)であった。滞留時間が2時間以上の来訪者は、長野県15.7% (14人)、愛知他隣県26.2% (46人)、その他都道府県31.4% (21人)であった。居住地が長野県から遠くなるほど滞留時間が長くなる傾向にある。

来訪者の旅行相手は全体(単純集計)では、知人友人が25.9% (86人)と最も多く、家族(子連れ)が24.4% (81人)、夫婦が24.1% (80人)、家族(大人のみ)が10.2% (34人)、単独が7.8% (26人)、カップル(未婚)が2.4% (8人)、職場団体とその他が1.5% (5人)、未記入が1.2% (4人)、ツアー団体が0.9% (3人)であった。

居住地別に見てみると、(図7参照)、長野県からの来訪者の旅行相手は、夫婦が25.8% (23人)と最も多く、家族(子連れ)が23.6% (21人)、知人友人が22.5% (20人)、単独が12.4% (11人)、家族(大人のみ)が9.0% (8人)、カップル(未婚)と職場団体がともに3.4% (3人)の順であった。

愛知他隣県からの来訪者の旅行相手は、知人友人が27.8% (49人)と最も多く、夫婦が25.6% (45人)、家族(子連れ)が23.9% (42人)、家族(大人のみ)が8.5% (15人)、単独が5.7% (10人)、カップル(未婚)が2.8% (5人)、その他が2.3% (4人)、ツアー団体が1.7% (3人)、職場団体が1.1% (2人)、未記入が0.6% (1人)の順であった。

その他都道府県からの来訪者の旅行相手は、家族(子連れ)26.9% (18人)と最も多く、知人友人が25.4% (17人)、夫婦17.9% (12人)、家族(大人のみ)16.4% (11人)、単独7.5% (5人)、未記入4.5% (3人)、その他1.5% (1人)の順であった。

どの居住地域からも旅行相手は、家族(子連れ)、知人友人、夫婦が上位の1位から3位までを占めている。

4. 主な交通手段と旅行ルート

来訪者の主な交通手段を単純集計(332人)すると、マイカー74.4% (247人)、バイク18.4% (61人)、鉄道(JR)2.4% (8人)、観光バスとその他がともに1.5% (5人)、中央高速バス0.9% (3人)、自転車0.3% (1人)の順であった。

居住地別に見ると(図8参照)、長野県からの来

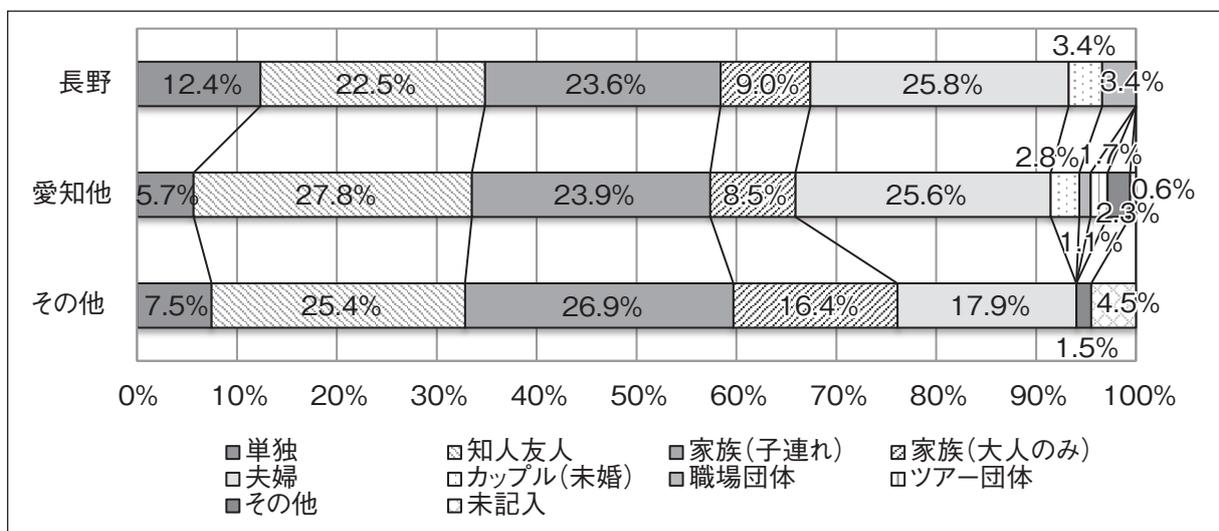


図7 来訪者の旅行相手

訪者はマイカー83.1% (74人)、バイク13.5% (12人)、鉄道とその他がともに1.1% (1人) の順であった。愛知他隣県からの来訪者は、マイカー69.3% (122人)、バイク25.6% (45人)、観光バス2.8% (5人)、その他1.1% (2人)、鉄道 (JR) と中央高速バスがともに0.6% (1人) の順であった。その他都道府県からの来訪者は、マイカー76.1% (51人)、鉄道 (JR) 9.0% (6人)、バイク6.0% (4人)、中央高速バスとその他がともに3.0% (2人)、自転車1.5% (1人) の順であった。

個人旅行の交通手段として上位1位と2位を占めるマイカーとバイクの調査地点別集計を行ってみる。

マイカーと答えた247人とバイクと答えた61人の合計は、長野県からの来訪者は86人、愛知他からの来訪者は163人、その他都道府県からの来訪者は55人であった。これらの来訪者の調査地点別集計結果を図9に示す。

長野県からの来訪者 (86人) は、道の駅日義45.3% (39人)、開田高原26.7% (23人)、福島地区15.1% (13人)、木曾市場12.8% (11人) の順であった。愛知他からの来訪者 (167人) は、開田高原46.1% (77人)、木曾市場27.5% (46人)、道の駅日義19.2% (32人)、福島地区7.2% (12人) の順で、その他都道府県からの来訪者 (56人) は、開田高原

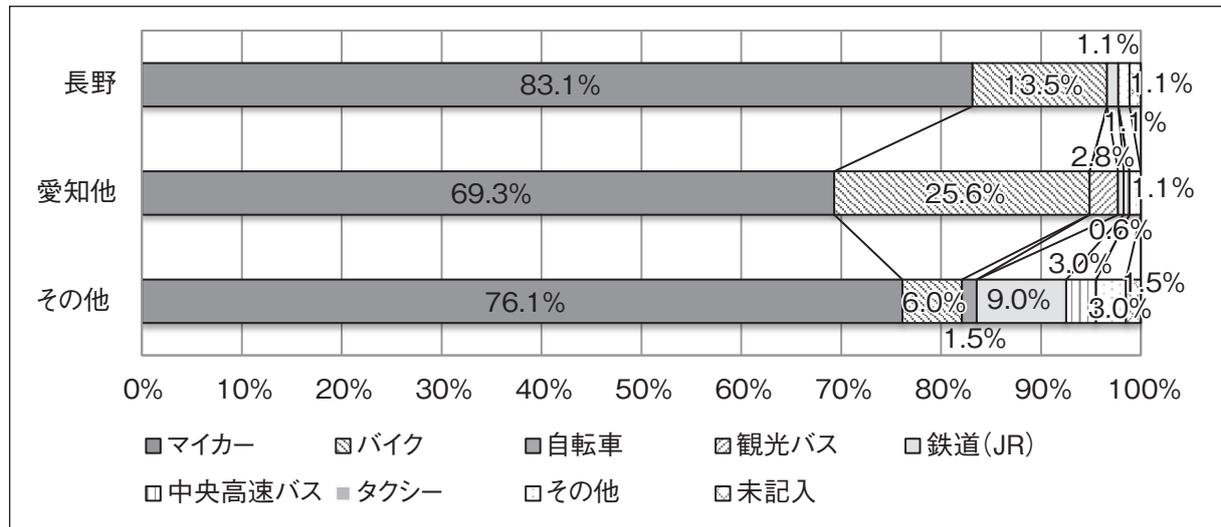


図8 来訪者の主な交通手段

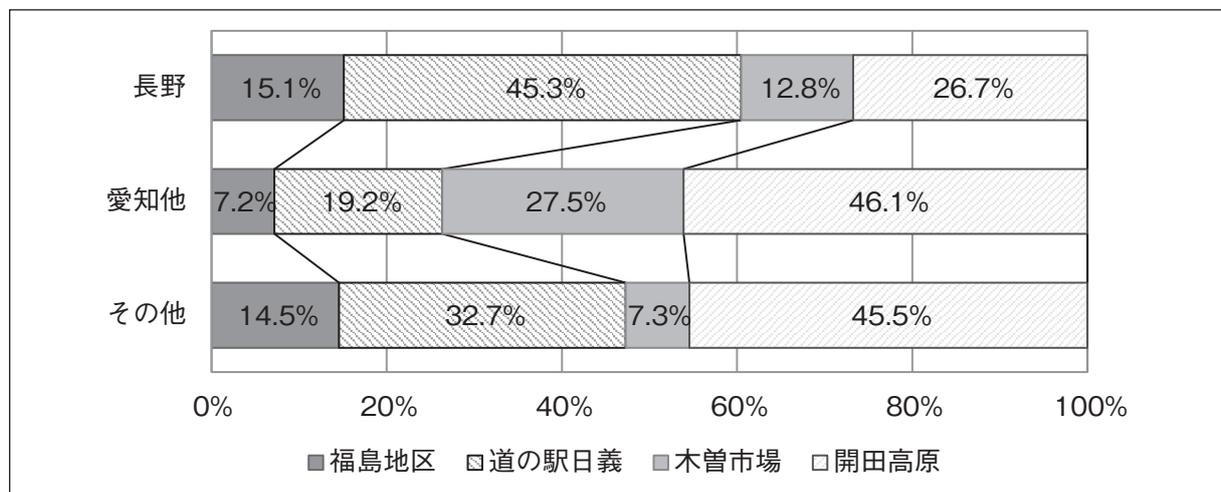


図9 マイカーまたはバイク利用者の調査地点別比率

45.5% (25人)、道の駅日義32.7% (18人)、福島地区14.5% (8人)、木曾市場7.3% (4人) の順であった。

これらの結果は、長野県外からの来訪者にとって、開田高原の気候(涼しさ)、御嶽山をはじめとする眺望、木曾馬の里などの施設、それに蕎麦、乳製品など、開田高原は非常に魅力があることを示している。

道の駅に関しては、長野県内からの来訪者与其他都道府県からの来訪者にとっては道の駅日義の方が地場の野菜や果物、そして蕎麦などに魅力があるとみられる。また、愛知他からの来訪者にとっては木曾市場の方が地元の農産物だけでなく、県内産のスイカなどもお土産物として魅力があると考えてよいだろう。長野県内、愛知他、其他都道府県からの来訪者数の比率の「道の駅日義」と「木曾市場」における差異は、それぞれからの来訪者の往路と復路の選び方にも関係していると思われる(図10a,bから図11a・b・c参照)。

木曾地域への往路に高速道路を利用した人は、長野県からの来訪者(89人)のうち9人(10.1%)で、利用しない人は52人(58.4%)、後は未記入であった。愛知他からの来訪者(176人)の中で高速道路を利用した人は115人(65.3%)、利用しない人は45人(25.6%)であった。其他都道府県からの来訪者(67人)の中で高速道路を利用した人は54人

(80.6%)、利用しない人は9人(13.4%)であった。

往路に高速道路を利用した長野県からの来訪者(9人)の中で中央自動車道を利用した人は5人(55.6%)、長野自動車道を利用した人は3人(33.3%)であった。往路に高速道路を利用した愛知他からの来訪者(115人)の中で中央自動車道を利用した人は98人(85.2%)、東名自動車道を利用した人は7人(6.1%)、長野自動車道を利用した人は4人(3.5%)であった。往路に高速道路を利用した其他都道府県からの来訪者(54人)の中で中央自動車道を利用した人は43人(79.6%)、東名自動車道を利用した人は4人(7.4%)、長野自動車道を利用した人は1人(1.9%)であった。

木曾地域への旅行ルート(往路)を図10aに示す。長野県は「塩尻方面から」が28.1%(25人)と最も多く、「伊那方面から」が23.6%(21人)、「中津川方面から」が6.7%(6人)、「その他」4.5%(4人)、「高山方面から」が1.1%(1人)の順であった。

愛知他隣県は「中津川方面から」が58.0%(65人)と最も多く、「伊那方面から」が9.8%(11人)、「塩尻方面から」が8.9%(10人)、「高山方面から」が7.1%(8人)、「その他」が3.6%(4人)の順であった。その他の都道府県は「伊那方面から」が22.4%(15人)と最も多く、「塩尻方面から」が19.4%(13人)、「中津川方面から」と「その他」が3.0%(2人)の順で

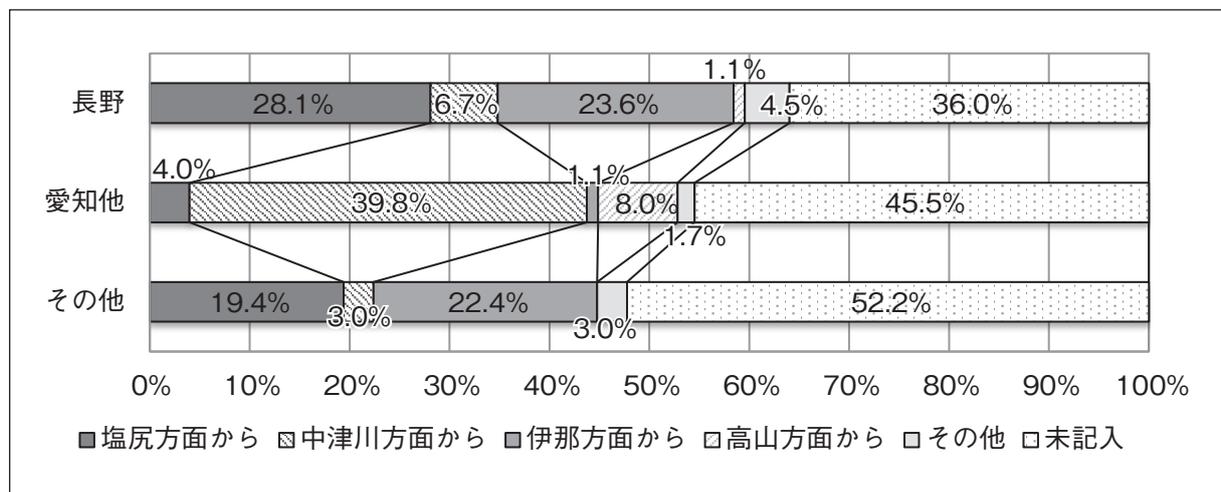


図10a 来訪者の旅行ルート(往路)

あった。

帰路に高速道路を利用する予定の人は、長野県からの来訪者 (89人) のうち、7人 (7.9%) で、利用しない人は52人 (58.4%)、後は未記入であった。愛知他からの来訪者 (176人) の中で高速道路を利用する予定の人は114人 (64.8%)、利用しない予定の人は40人 (22.7%) であった。その他都道府県からの来訪者 (67人) の中で高速道路を利用する予定の人は52人 (77.6%)、利用しない人は9人 (13.4%) であった。

帰路に高速道路を利用する予定の長野県からの来訪者 (7人) は、中央自動車道3人 (42.9%)、長野自動車道2人 (28.6%) であった。帰路に高速道路を利用する予定の愛知他からの来訪者 (114人) は、中央自動車道100人 (87.7%)、東名自動車道6人 (5.3%)、長野自動車道4人 (3.5%) であった。帰路に高速道路を利用する予定のその他都道府県からの来訪者 (52人) は、中央自動車道44人 (84.6%)、長野自動車道2人 (3.8%)、東名自動車道1人 (1.9%) であった。

旅行ルート (帰路) では、長野県からの来訪者 (89人) は、「塩尻方面へ」21.3% (19人)、「伊那方面へ」18.0% (16人)、「中津川方面へ」5.6% (5人)、「その他」3.4% (3人) の順であった (図10b参照)。

愛知他隣県からの来訪者は、「中津川方面へ」37.5% (66人)、「高山方面へ」6.8% (12人)、「その他」が2.8% (5人)、「伊那方面へ」が2.3% (4人)、「塩尻方面へ」1.7% (3人) の順であった。その他の都道府県からの来訪者は、「伊那方面へ」22.4% (15人)、「塩尻方面へ」9.0% (6人)、「中津川方面へ」7.5% (5人)、「高山方面へ」3.0% (2人)、「その他」1.5% (1人) の順であった。

次に、往路と帰路の選び方が来訪者の居住地によって差異があるかどうかを検討してみる。長野県からの来訪者で往路についての回答者は89人いる。図11aに示すように塩尻方面から訪れた人 (25人) のうち68.0% (17人) が帰路も塩尻方面へ、未記入は32.0% (8人) であった。中津川方面から訪れた人 (6人) のうち、83.3% (5人) は帰路も中津川方面へで、伊那方面16.7% (1人) であった。伊那方面から訪れた人 (21人) のうち66.7% (14人) が帰路も伊那方面へ向かい、未記入は28.6% (6人)、4.8% (1人) は塩尻方面であった。高山から訪れた人 (1人) は未記入100%であった。

愛知他隣県からの来訪者で往路に回答した方は176人で、その帰路の内訳を図11bに示す。塩尻方面から訪れた人 (7人) のうち42.9% (3人) は中津川方面へ、28.6% (2人) は帰路も塩尻方面へ向か

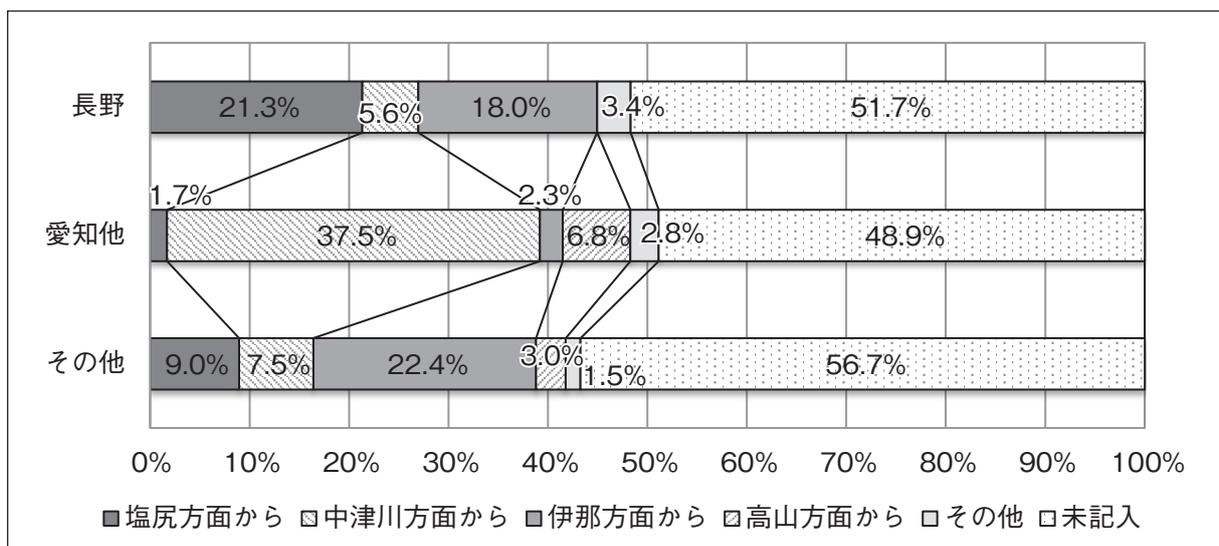


図10b 来訪者の旅行ルート (帰路)

い、未記入とその他は14.3% (8人) であった。中津川方面から訪れた人 (70人) のうち、帰路も中津川方面へ72.9% (51人)、高山方面へ7.1% (5人)、伊那方面へ2.9% (2人) の来訪者が向かい、未記入は17.1% (12人) であった。伊那方面から訪れた人 (2人) のうち、帰路も伊那方面へと中津川方面へがともに50.0% (1人) であった。高山から訪れた人 (14人) のうち、高山方面へ28.6% (4人)、中津川方面へ21.4% (3人)、その他は7.1% (1人) だった。未記入は42.9% (6人) だった。

その他都道府県からの来訪者で往路に回答し

た人 (67人) の帰路の内訳を図11cに示す。

塩尻方面から訪れた方が13人であり、塩尻方面へ46.2% (6人)、中津川方面へ15.4% (2人)、その他7.7% (1人)、未記入30.8% (4人) であった。中津川方面から訪れた方が2人であり、そのすべてが中津川方面へ100.0%であった。伊那方面から訪れた方が15人であり、そのすべての伊那方面へであった。

5. 現在地への来訪頻度と来訪目的

来訪者の現在地 (木曾福島地区、開田高原、日

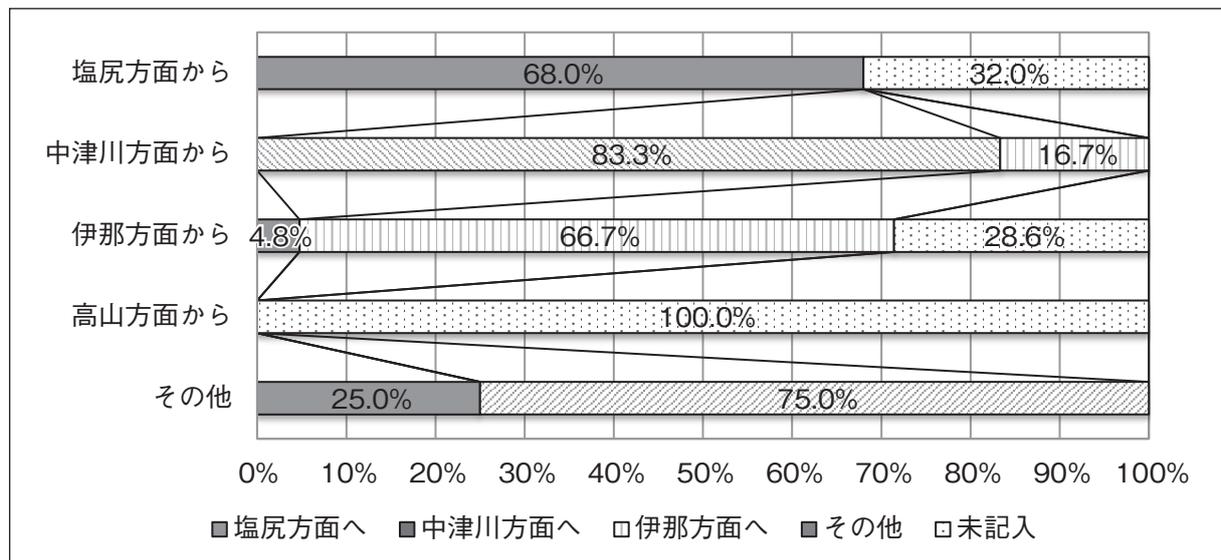


図11a 長野県からの来訪者の往路と帰路

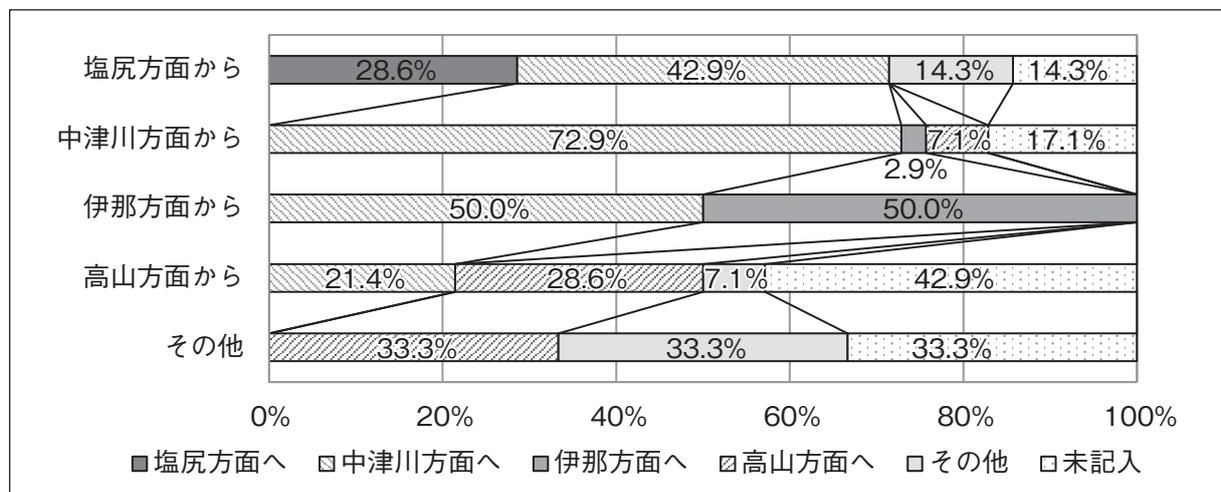


図11b 愛知他隣県からの来訪者の往路と帰路

義木曾駒高原道の駅または木曾市場) への来訪頻度を図12に示す。長野県からの来訪者は、10回以上39.3% (35人) が最も多く、3~5回19.1% (17人)、はじめて15.7% (14人)、2回目10.1% (9人)、6~9回4.5% (4人) の順であった。

愛知他隣県からの来訪者は、10回以上34.1% (60人) が最も多く、3~5回22.7% (40人)、はじめて21.0% (37人)、6~9回10.8% (19人)、2回目7.4% (13人) の順であった。その他の都道府県からの来訪者は、はじめて34.3% (23人) が最も多く、10回以上23.9% (16人)、2回19.4% (13人)、3~5回

16.4% (11人)、6~9回1.5% (1人) の順であった。

長野県内と愛知他隣県からは10回以上訪れている来訪者の割合が最も高い。3回以上の来訪者をリピーターと呼ぶことにすると、長野県からのリピーターは62.9% (56人/89人)、愛知他隣県からのリピーターは68.6% (119人/176人)、その他の都道府県からのリピーターは41.7% (28人/67人) となっている。

現在地 (木曾福島地区、開田高原、日義木曾駒高原道の駅または木曾市場) を訪れた目的 (3つまで選択) は単純集計 (332人) でみると、ドライブが

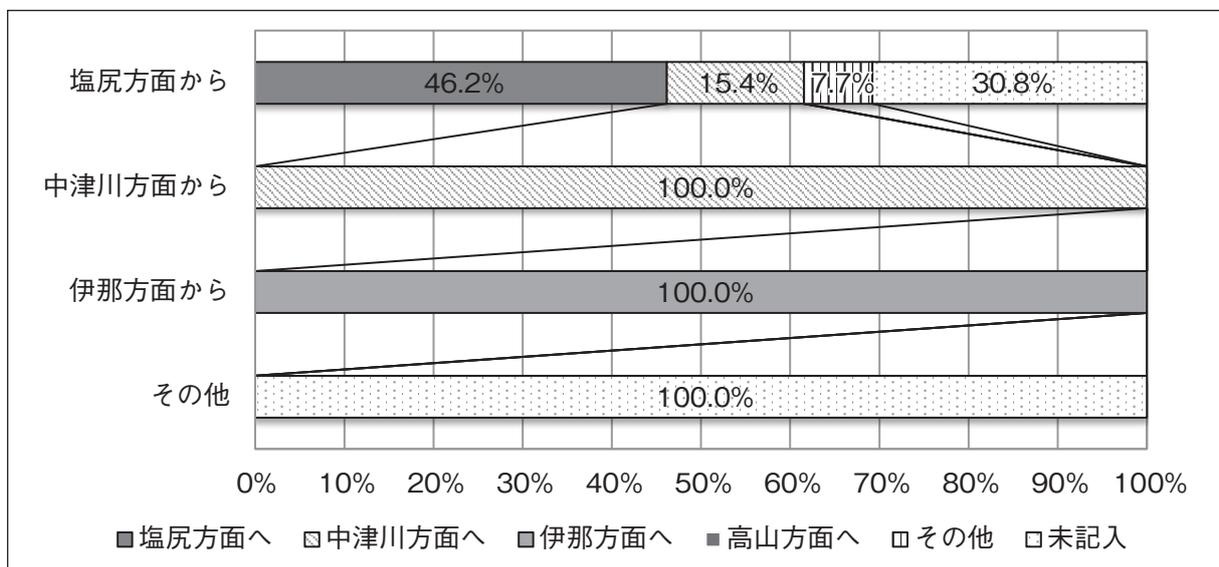


図11b 愛知他隣県からの来訪者の往路と帰路

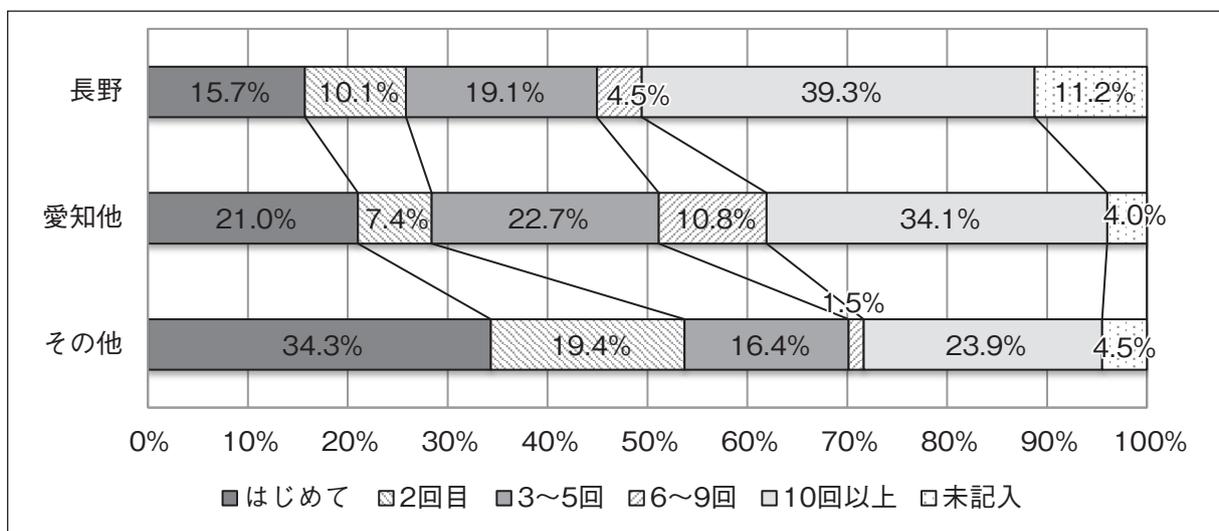


図12 木曾町への来訪頻度

44.0% (146人) が最も多く、自然の風景32.5% (108人)、その他19.9% (66人)、産地直売品・おみやげと飲食がともに12.0% (40人)、温泉 (足湯を含む) 9.3% (31人)、木曽馬牧場7.8% (26人)、キャンプ5.7% (19人)、宿場ウォーク3.9% (13人)、溪流釣り2.4% (8人)、登山とトレッキングがともに1.5% (5人) の順であった。

居住地別に見てみると (図13参照)、長野県からの来訪者は、ドライブが44.9% (40人) と最も多く、自然の風景21.3% (19人)、その他19.1% (17人)、産地直売品・おみやげ13.5% (12人)、飲食10.1% (9人)、木曽馬牧場6.7% (6人)、温泉 (足湯を含む) と溪流釣りがともに3.4% (3人)、宿場ウォークと登山とキャンプがともに2.2% (2人)、トレッキング1.1% (1人) の順であった。

愛知他隣県からの来訪者は、ドライブ47.7% (84人)、自然の風景35.2% (62人)、その他19.9% (35人)、飲食14.2% (25人)、産地直売品・おみやげ11.4% (20人)、温泉 (足湯を含む) 9.7% (17人)、

キャンプ8.0% (14人)、木曽馬牧場6.8% (12人)、溪流釣り1.7% (3人)、宿場ウォークとトレッキングと登山がともに1.1% (2人) の順であった。

その他の都道府県からの来訪者は、自然の風景が40.3% (27人)、ドライブ32.8% (22人)、その他20.9% (14人)、温泉 (足湯を含む) 16.4% (11人)、宿場ウォーク13.4% (9人)、木曽馬牧場と産地直売品・おみやげがともに11.9% (8人)、飲食9.0% (6人)、キャンプ4.5% (3人)、トレッキングと溪流釣りがともに3.0% (2人)、登山1.5% (1人) の順であった。

どの居住地からの来訪者も、「自然の風景」と「ドライブ」が上位1位と2位を占めている。その他を除くと、単純集計で上位に来ていた「産地直売品・おみやげ」と「飲食」がどの地域からの来訪者においても比較的高い (概ね10%を越える) 割合を占めている。さらに、その他都道府県からの来訪者の「温泉 (足湯を含む)」、「宿場ウォーク」、「木曽馬牧場」が10%以上を占めている点が注目され

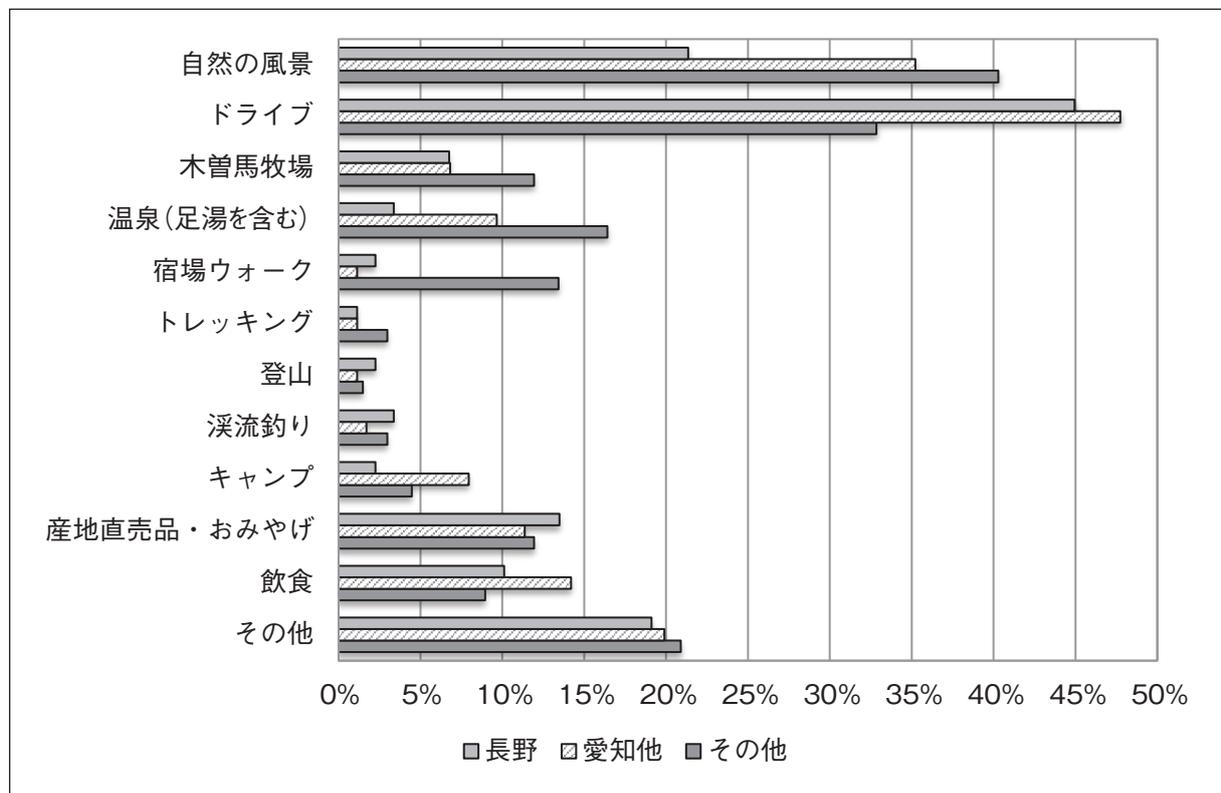


図13 木曽を訪れた目的 (3つまで選択)

る。

来訪目的の「その他」に対する記述を以下に示す。長野県からの来訪者は12人が記述していて、「祭り」(3人、木曾福島祭り1を含む)、「休息」(3人)、以下は各1人で、「阿寺溪谷水汲み」、「買い物」、「ギャラリー見学」、「孫と遊ぶ」、「仕事」、「ツーリング」であった。

愛知他からの来訪者は31人が記述していて、「ツーリング」(5人)、「帰省」(4人)、「休憩」(3人)、「ブルーベリー狩り」(3人)、「お祭り」(2人)、「帰り道」(2人)、以下は各1人で、「お墓掃除」、「御嶽参り」、「カヤック」、「昆虫採集」、「スノボ」、「葬式」、「そば打ち体験」、「通りすがり」、「友人と星を見に来た」、「暇つぶし」、「目薬を買いに」、「山村代官屋敷」であった。

其他都道府県からの来訪者は13人が記述していて、「お祭り」(4人)、「帰省」(2人)、「ゴルフ」(2人)、以下は各1人で、「休憩」、「仕事」、「中学の同級生の集まり」、「名古屋から松本まで歩く途中」、「友人に会いに来た」であった。

6. 訪れた、または訪れる予定の場所

今回の旅行で訪れた場所、または訪れる予定の場所(5つまで選択)に対する単純集計(332人)の集計結果を「その他」(16.0%、53人)を除いて最上位から第10位まで示すとつぎのようになる。

第1位「開田高原(九蔵峠展望台を含む)」26.2%(87人)、第2位「奈良井宿」26.2%(87人)、第3位「木曾馬の里」11.7%(39人)、第4位「木曾暮らし

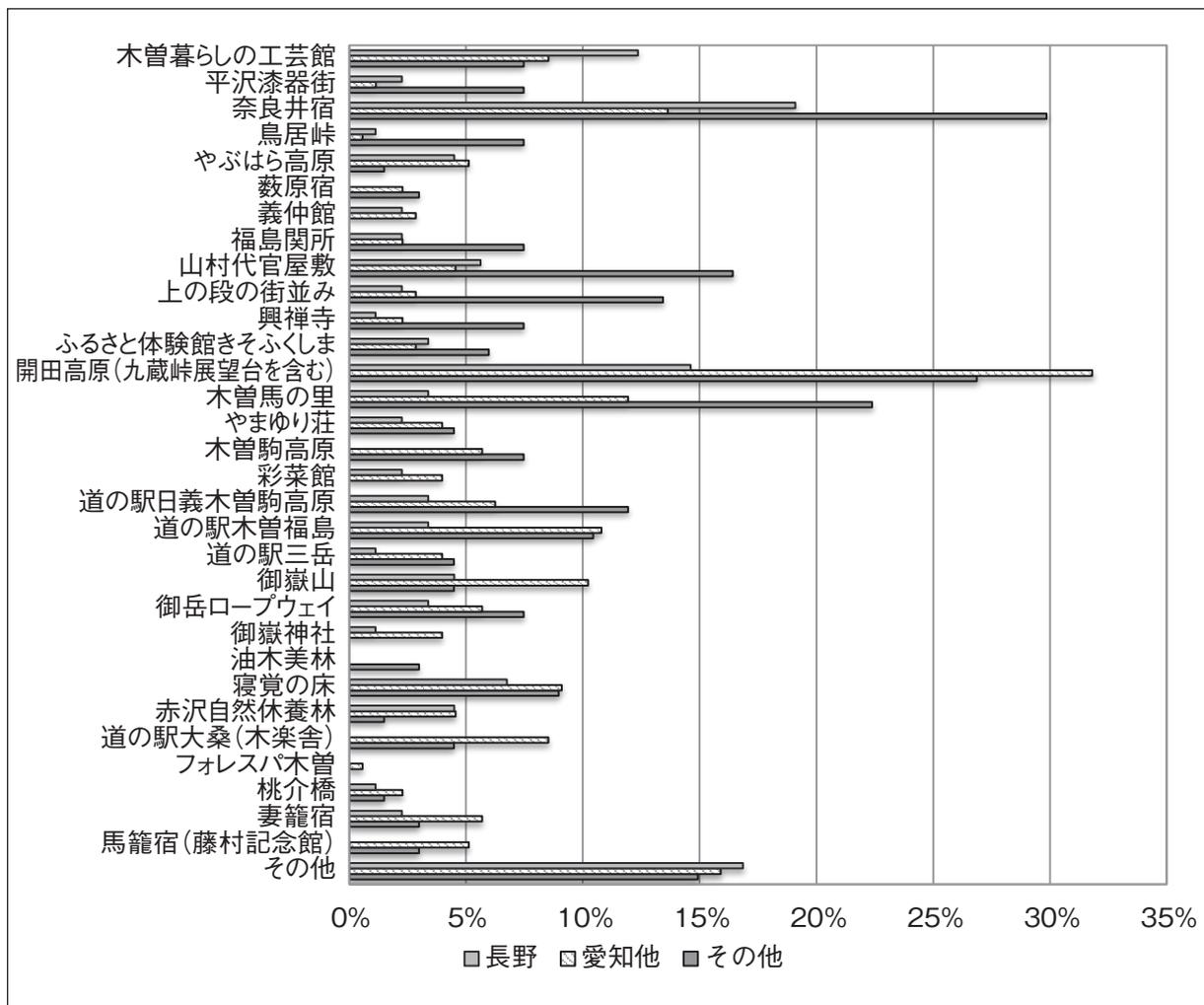


図14 訪れた場所、または訪れる予定の場所(5つまで選択)

の工芸館」9.3% (31人)、第5位「道の駅木曾福島」8.7% (29人)、第6位「寝覚ノ床」8.4% (28人)、第7位「御嶽山」7.5% (25人)、第8位「山村代官屋敷」7.2% (24人)、第9位「道の駅日義」6.6% (22人)、第10位「御岳ロープウェイ」と「道の駅大桑(木楽舎)」がともに5.4% (18人)であった。

以上の11カ所の観光スポットを地区別に分けてみる。i) 開田高原(第1位と第3位)、ii) 宿場町(第2位)、iii) 木曾福島地区(第4位と第8位)、iv) 道の駅(第5位、第9位と第10位)、v) 名称「寝覚ノ床」(第6位)、vi) 御嶽山(第7位と第10位)に分けることができる。

居住地別に訪れた場所、または訪れる予定の場所を集計した結果を図14に示す。長野県からの来訪者は、奈良井宿19.1% (17人)、その他16.9% (15人)、開田高原14.6% (13人)、木曾暮らしの工芸館12.4% (11人)、寝覚の床6.7% (6人)、山村代官屋敷5.6% (5人)、「やぶはら高原」と赤沢自然休養林と御嶽山がともに4.5% (4人)の順であった。

愛知他隣県からの来訪者は、開田高原(九蔵峠展望台を含む)31.8% (56人)、その他15.9% (28人)、奈良井宿13.6% (24人)、木曾馬の里11.9% (21人)、道の駅木曾福島10.8% (19人)、御嶽山10.2% (18人)、寝覚の床9.1% (16人)、道の駅大桑(木楽舎)と木曾暮らしの工芸館がともに8.5% (15人)、道の駅日義木曾駒高原6.3% (11人)、妻籠宿、御嶽ロープウェイ、木曾駒高原がいずれも5.7% (10人)、馬籠宿(藤村記念館)とやぶはら高原が5.1% (9人)、赤沢自然休養林と山村代官屋敷が4.5% (8人)、御嶽神社と道の駅三岳と彩葉館とやまゆり荘が4.0% (7人)の順であった。

その他の都道府県からの来訪者は、奈良井宿29.9% (20人)、開田高原(九蔵峠展望台を含む)26.9% (18人)、木曾馬の里22.4% (15人)、山村代官屋敷16.4% (11人)、その他14.9% (10人)、道の駅日義木曾駒高原11.9% (8人)、道の駅木曾福島10.4% (7人)、寝覚の床が9.0% (6人)、御嶽ロープウェイと木曾駒高原と興禅寺と福島関所と鳥居峠

と平沢漆器街と木曾暮らしの工芸館がいずれも7.5% (5人)、ふるさと体験館きそふくしま6.0% (4人)、道の駅大桑(木楽舎)と御嶽山と道の駅三岳とやまゆり荘がともに4.5% (3人)の順であった。

「その他」に訪れた場所に対する記述を以下に示す。長野県からの来訪者(13人)は、「阿寺溪谷」(2人)、「トロッコに乗る」(2人)、以下は各1人で、「蕎麦」、「墓参り」、「祭り」、「木曾古道」、「キャンプ場」、「公園」、「高ボッチ高原」、「ドライブ」、「福島宿」であった。

愛知他からの来訪者(16人)は、「キャンプ場」(4人)、「温泉」(3人、鹿の瀬温泉、二本木温泉各1を含む)、「蕎麦」(2人)、以下は各1人で、「美ヶ原高原」、「木曾古道」、「乗鞍-奈川-白骨」、「富士見高原」、「別荘-松本」、「おんたけ休暇村」、「みこしまくり」であった。

その他都道府県からの来訪者(9人)は、「祭り」(2人、福島水無神社例大祭1を含む)、「ゴルフ」(2人)、以下は各1人で、「阿寺溪谷」、「大滝村」、「木曾川」、「木祖村」、「自然湖」であった。

なお、水無神社例大祭は毎年7月22日から23日にかけて行われ、みこしまくりは例大祭で行われる神事である。2016年は、アンケート調査日である7月24日(日)の前日まで行われている。

7. 情報収集の方法と求める地域情報

来訪者の現在地(木曾福島地区、木曾市場、開田高原および日義木曾駒高原道の駅)に関する情報収集の方法(3つまで選択)を、全体(332人の単純集計)で見ると、以前に来た35.2% (117人)が最も多く、ここではじめて12.0% (40人)、インターネット11.7% (39人)、その他9.9% (33人)、口コミ7.8% (26人)、観光パンフ7.2% (24人)、ガイドブック6.9% (23人)、道沿いの看板5.4% (18人)、新聞・チラシ0.6% (2人)、テレビ・ラジオ0.3% (1人)の順であった。

居住地別に情報収集の方法を集計した結果を

図15に示す。長野県からの来訪者は、以前に来た31.5% (28人) が最も多く、ここではじめてとその他がともに13.5% (12人)、インターネット10.1% (9人)、口コミ9.0% (8人)、ガイドブック6.7% (6人)、観光パンフ4.5% (4人)、道沿いの看板3.4% (3人)、新聞・チラシが2.2% (2人) の順であった。

愛知他隣県からの来訪者は、以前に来た42.0% (74人) が最も多く、ここではじめて11.4% (20人)、インターネット10.8% (19人)、口コミ8.5% (15人)、ガイドブックと道沿いの看板とその他がともに6.3% (11人)、観光パンフ5.1% (9人)、テレビ・ラジオ0.6% (1人) の順であった。

その他の都道府県からの来訪者は、以前に来た22.4% (15人) が最も多く、観光パンフとインターネットがともに16.4% (11人)、その他14.9% (10人)、ここではじめて11.9% (8人)、ガイドブック9.0% (6人)、道沿いの看板6.0% (4人)、口コミ4.5% (3人) の順であった。

長野県からの来訪者は、以前に来た31.5% (28

人) が最も多く、ここではじめてとその他がともに13.5% (12人)、インターネットが10.1% (9人)、口コミ9.0% (8人)、ガイドブック6.7% (6人)、観光パンフ4.5% (4人)、道沿いの看板3.4% (3人)、新聞・チラシが2.2% (2人) の順であった。

「その他」の情報収集の方法に対する記述を以下に示す。長野県からの来訪者 (7人) は、いずれも各1人で、「以前住んでいた」、「おばあちゃんの家がある」、「木曾の学校にいる娘」、「近所だから」、「経営者と知り合い」、「(住民と) 交流 (がある)」、「実家」であった。愛知他隣県からの来訪者 (3人) は、「知人友人」(2人)、「毎年来ている」(1人) であった。その他都道府県からの来訪者 (7人) は、「知人」(2人)、以下は各1人で、「家族」、「現地の友人」、「ゴルフ情報」、「実家があるため」、「スタンプブック」、「たまたま」であった。

この地域に関するほしい情報 (3つまで選択) を全体 (332人の単純集計) でみると、食事の楽しめる場所41.6% (138人) が最も多く、温泉施設25.9%

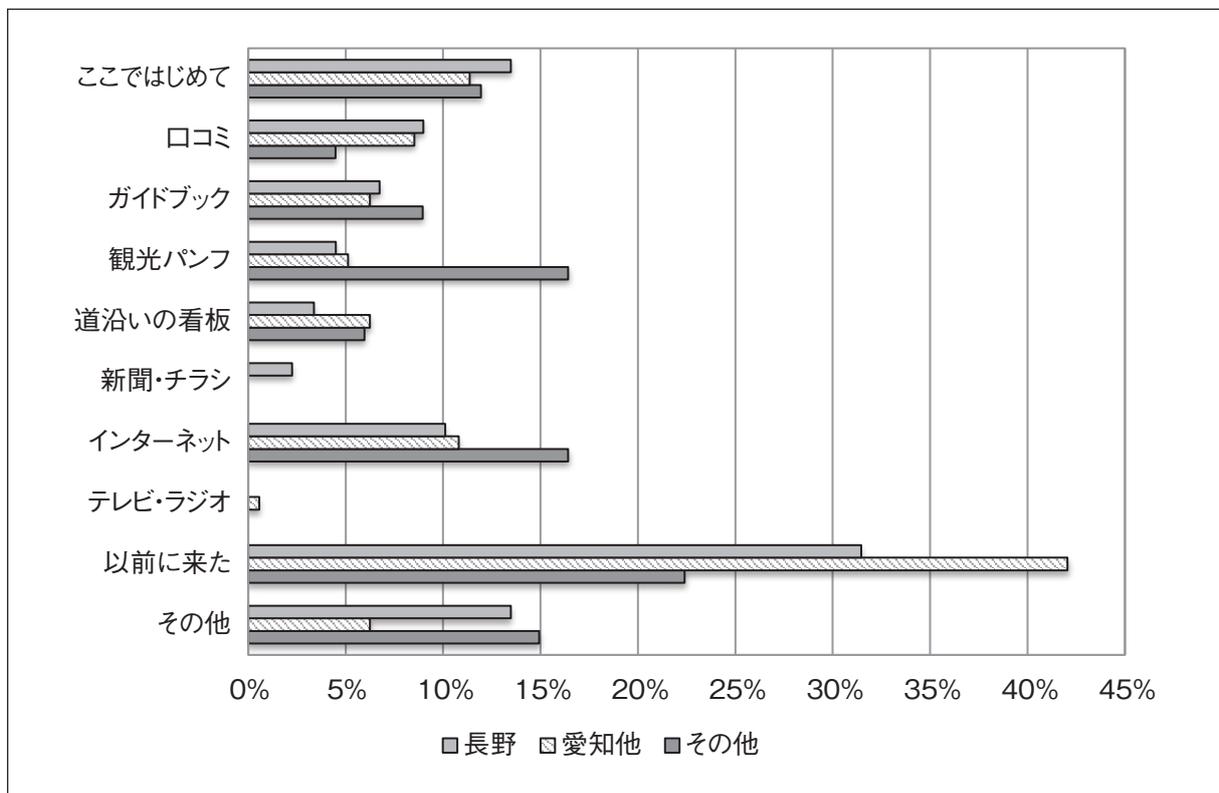


図15 木曾町の情報収集の方法 (3つまで選択)

(86人)、自然に触れあえる場所22.6% (75人)、ドライブコース・道路17.2% (57人)、季節のイベントや催し16.0% (53人)、農産物直売所15.1% (50人)、必要ない8.4% (28人)、わからない3.0% (10人)、その他2.7% (9人)、空き家(住居)情報2.1% (7人)、地元民との交流1.2% (4人)の順であった。

この地域に関するほしい情報(3つまで選択)を居住地別に集計した結果を図16に示す。

長野県からの来訪者は、食事の楽しめる場所32.6% (29人)が最も多く、温泉施設と、自然に触れあえる場所がともに20.2% (18人)、季節のイベントや催し16.9% (15人)、必要ない14.6% (13人)、農産物直売所13.5% (12人)、ドライブコース・道路7.9% (7人)、空き家(住居)情報、わからないがいずれも4.5% (4人) 地元民との交流とその他がともに1.1% (1人)の順であった。

愛知他隣県からの来訪者は、食事の楽しめる場所49.4% (87人)が最も多く、温泉施設27.3% (48人)、ドライブコース・道路22.7% (40人)、自然に

触れあえる場所22.2% (39人)、農産物直売所17.0% (30人)、季節のイベントや催し11.9% (21人)、必要ない4.5% (8人)、その他とわからないがともに3.4% (6人)、空き家(住居)情報と地元民との交流がともに1.1% (2人)の順であった。

その他の都道府県からの来訪者は、食事の楽しめる場所32.8% (22人)が最も多く、温泉施設29.9% (20人)、自然に触れあえる場所26.9% (18人)、季節のイベントや催し25.4% (17人)、ドライブコース・道路14.9% (10人)、農産物直売所11.9% (8人)、必要ない10.4% (7人)、その他3.0% (2人)、地元民との交流および空き家(住居)情報がともに1.5% (1人)の順であった。

ほしい情報の「その他」に対する記述を以下に示す。長野県からの来訪者は、「キャンプ場」(1人)のみであった。愛知他からの来訪者(6人)は、「新しい施設」、「景観」、「広域地図」、「子どもと遊べるイベント、催し物の情報」、「近所で野菜を買えるところ」、「ペットと遊べる場所」であった。

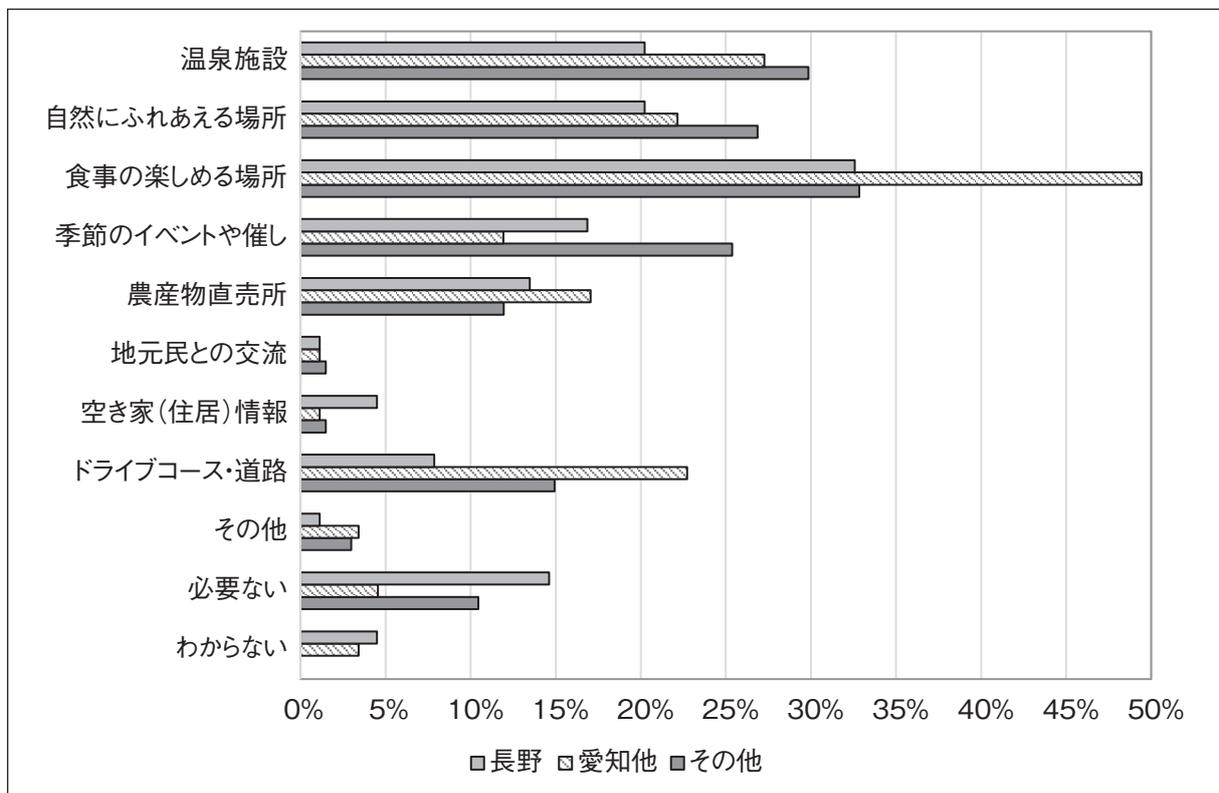


図16 この地域でほしい情報(3つまで選択)

其他都道府県からの来訪者(2人)は、「子どもと遊べる場所の情報」、「特に情報を求めている」各1であった。

どの居住地域からの来訪者も、単純集計でも上位を占めていた、「食事の楽しめる場所」、「温泉施設」、「自然に触れあえる場所」、「ドライブコース・道路」、「季節のイベントや催し」、「農産物直売所」の情報がほしいと回答している。この傾向は2014年7月20日(日)の調査、2015年10月3日(土)の調査でも変わらない。愛知他からの来訪者が「食事の楽しめる場所」を選んだ比率49.4%(87人/176人)は(他の居住地からの来訪者の比率と比べても)過去最高であった。

8. 旅行予算とお土産代

旅費と宿泊費を除く1人当たりの予算を図17に示す。図4の旅行日程のグラフからわかるように、長野県内からの来訪者、愛知他隣県からの来訪者、其他都道府県からの来訪者の順に宿泊を伴う割合が高くなっている。さらに、其他都道府県の方が愛知他隣県よりも連泊する比率が高い。これらの旅行日程を反映して、長野県内、愛知他隣県、其他都道府県の順に旅行予算が増加していると考

えられる。

未記入を除いて有効回答(302)の金額の区間の中央値を用いて、来訪者の旅費と宿泊費を除く1人当たりの予算(旅行予算)の平均値を求めてみる。例えば、5000円未満の区間の場合、その中央値は $(0+5,000)/2=2,500$ (円)となる。5,000円以上1万円未満の区間では、 $(5,000+10,000)/2=7,500$ (円)となる。2万円以上の区間では、中央値として30,000と(25,000)(円)の2通りの場合を考えて以下のように平均値を計算してみた。

長野県からの来訪者(82人)の旅行予算の平均値は5,549円(5,427円)、愛知他隣県からの来訪者(163人)の旅行予算の平均値は10,261円(9,627円)、其他都道府県からの来訪者(57人)の旅行予算の平均値は18,290円(16,360円)となる。全来訪者(225人)の旅行予算の平均値は10,497円(9,768円)となる。

旅費と宿泊費を除く旅行の1人当たりの予算の中に含まれる、お土産代の集計結果を図18に示す。長野県内からの来訪者は、2千円未満56.2%(50人)、2千円以上4千円未満24.7%(22人)と未満が80.9%を占め、4千円以上は7.9%(7人)となっている。

愛知他隣県からの来訪者は、2千円未満36.4%

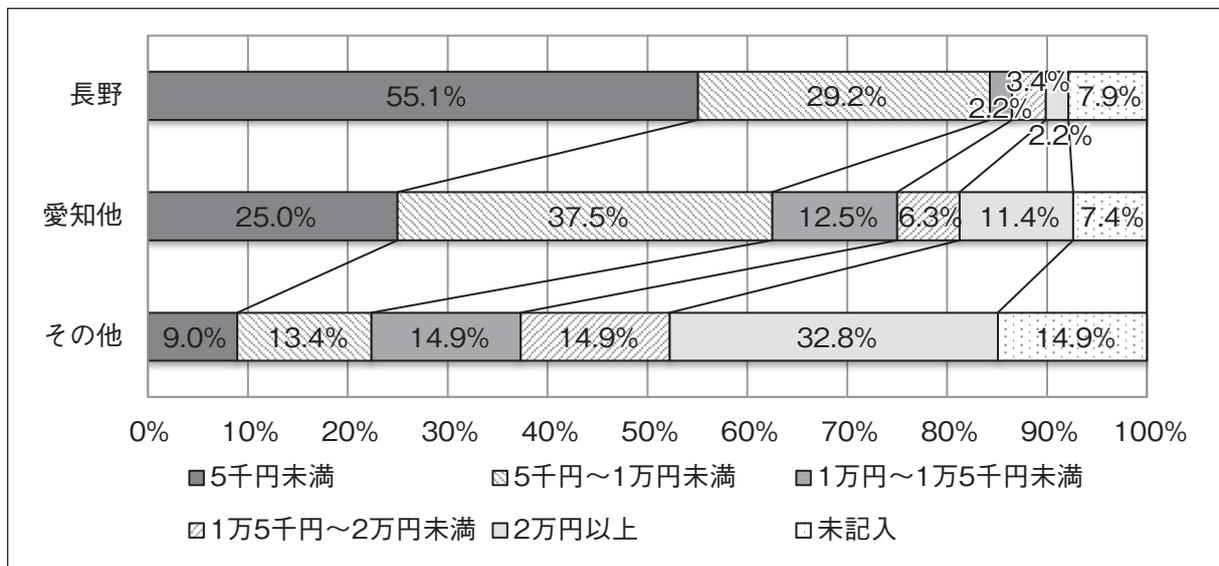


図17 旅費、宿泊費を除いた旅行の予算(1人当たり)

(64人)、2千円以上4千円未満27.3% (48人)と4千円未満が63.6%を占め、4千円以上は25.6% (45人)であった。その他都道府県からの来訪者は、2千円未満20.9% (14人)、2千円以上4千円未満26.9% (18人)と4千円未満が47.8%を占め、4千円以上は37.3% (25人)であった。長野県外からの来訪者の方が県内からの来訪者よりもお土産代は多いようだ。

お土産代についても有効回答 (293) の金額の区間の中央値を用いて、来訪者1人当たりが使うお土産代の平均値を求めてみる。ただし、1万円以上の区間の中央値としては15,000円 (12,500円) を用いた。

長野県からの来訪者 (79人) のお土産代の平均値は2,165円 (2,133円)、愛知他隣県からの来訪者 (157人) のお土産代の平均値は3,764円 (3,541円)、その他都道府県からの来訪者 (57人) のお土産代の平均値は5,000円 (4,693円) となる。全来訪者 (293人) のお土産代の平均値は3,573円 (3,386円) となる。

9. お土産として探しているもの

お土産として探しているものを記述していただく

た結果を表2に示す。長野県からの来訪者からは、「蕎麦」、「とうもろこし」、「野菜」が上位に入っている。これらの品物については、断らなくとも木曾地域の特産物 (地物) を意味していると思われる。「果物」は挙がっていないが、長野県各地に果物の産地があることに関係しているかもしれない。愛知他の来訪者からは、「野菜」、「果物」、「菓子 (類)」だけでなく、「地元のもの (特産品)」を探している気持ちが強く伝わってくる。その他都道府県からの来訪者からは、「菓子」、「酒」が上位に入っている。そして、「地元の特産品」を探していることも窺える。「野菜」、「果物」は少ないように見受けられるが、鮮度を保つことが難しいと考えているのだろうか。

10. おいしかったもの

木曾地域で飲食してみておいしかったもの (5つまで選択) を単純集計した結果は、第1位蕎麦 (182人、54.8%)、第2位アイスクリーム (106人、31.9%)、第3位トウモロコシ (46人、13.9%)、第4位ブルーベリー (34人、10.2%)、第5位ますの押し寿司とその他 (28人、8.4%)、第7位山菜 (27人、8.1%)、第8位すんき蕎麦 (21人、6.3%)、第9位そ

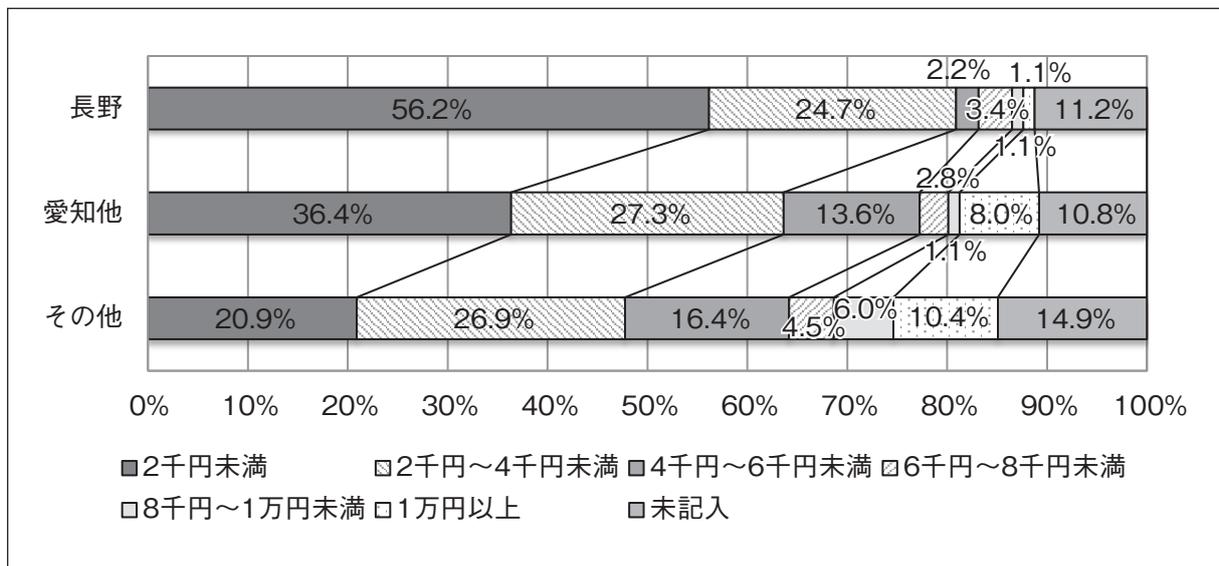


図18 お土産代

ばまんじゅうと赤カブ漬け (20人、6.0%)、第11位雑穀もち (18人、5.4%)、第12位ほおば巻き (17人、5.1%)、第13位木曾牛コロッケ (14人、4.2%)、第14位栗こもち (13人、3.9%)、第15位きのご鍋 (8人、2.4%)、第16位イワナ天井 (6人、1.8%)、第17位すんきラーメンとエゴマの五平もち (5人、1.5%)、第19位おんたけ白菜と岩魚 (4人、1.2%)、第21位五穀ラーメン (2人、0.6%)、第22位すんきとん井 (1人、0.3%) の順であった。

居住地別に集計した結果を図20に示す。長野県は、第1位蕎麦50.6% (45人)、第2位アイスクリーム20.2% (18人)、第3位ほおば巻き12.4% (11人)、第4位すんき蕎麦9.0% (8人)、第5位ますの押し寿

司とトウモロコシ7.9% (7人)、第7位木曾牛コロッケ、赤カブ漬け、ブルーベリーがともに6.7% (6人)、第10位そばまんじゅうと栗こもち5.6% (5人)、第12位山菜とその他4.5% (4人)、第14位すんきラーメンと雑穀もち・だんご3.4% (3人)、第16位エゴマの五平もち2.2% (2人) の順であった。

愛知他隣県では、第1位蕎麦59.1% (104人)、第2位アイスクリーム36.9% (65人)、第3位トウモロコシ15.9% (28人)、第4位ブルーベリー10.8% (19人)、第5位その他9.1% (16人)、第6位ますの押し寿司8.5% (15人)、第7位山菜7.4% (13人)、第8位雑穀もち6.8% (12人)、第9位そばまんじゅう6.3% (11人)、第10位すんき蕎麦1.1% (6人)、第11位き

表2 お土産として探しているもの

長野県	度数	愛知県他	度数	その他都道府県	度数
蕎麦	3	野菜	6	菓子	4
とうもろこし	2	果物	4	酒	3
野菜	2	地元のもの	3	食物	2
アイスクリーム	1	地元名産物	3	野菜	2
おいしい特化したもの	1	菓子	2	栗	1
おいしいもの	1	ここでしか食べられないもの	2	ここでしか買えないもの	1
お茶	1	トウモロコシ	2	酒のあてになるもの	1
寒天	1	バイクで持てるもの	2	ジャム	1
木曾漆器	1	まんじゅう	2	そば	1
五平餅	1	アイス	1	地ビール	1
蕎麦まんじゅう	1	いろいろ	1	特産物	1
百草丸	1	おいしいもの	1	ブルーベリー	1
ブルーベリー	1	櫛	1	味噌	1
マスのおから漬け	1	黒蒸しようかん	1	ワイン	1
山の幸	1	地場の限定のお土産	1	果物	1
和菓子	1	十割そば	1	産地特産	1
布ぞうり	1	食材	1	特産のデザート類	1
饅頭	1	そば	1	配りやすいもの	1
		そば粉	1	野沢菜	1
		食べ物	1		
		誰でも食べられて、日持ちする食べ物	1		
		チーズ	1		
		日本ミツバチの蜂蜜	1		
		民芸品	1		
		桃	1		

のご鍋と赤カブ漬け2.8% (5人)、第13位イワナ天井と木曾牛コロッケと栗こもち2.3% (4人)、第16位エゴマの五平もちと岩魚1.7% (3人)、第18位すんきラーメンとほおば巻き1.1% (2人) の順であった。

その他都道府県では、第1位蕎麦49.3% (33人)、第2位アイスクリーム34.3% (23人)、第3位トウモロコシ16.4% (11人)、第4位山菜14.9% (10人)、第5位ブルーベリーと赤カブ漬け13.4% (9人)、第7位その他11.9% (8人)、第8位すんき蕎麦10.4% (7人)、第9位ますの押し寿司9.0% (6人)、第10位栗こもちとほおば巻きとそばまんじゅう6.0% (4人)、第13位おんたけ白菜4.5% (3人)、第14位きのご鍋3.0% (2人)、第15位イワナ天井1.5% (1人) の順であった。

おいしかったもので「その他」の欄に記述されたものを以下に示す。長野県からの来訪者は、「五平餅」、「たこ焼き」、「つけもの」、「天井」各1人であった。愛知他からの来訪者は、「おやき」(2人)、以下は各1人で、「五平餅」、「信州牛」、「すんき」、

「高山ラーメン」、「馬刺し」、「ハンバーガー」、「ピザ」、「ミニトマト」、「ラーメン」であった。その他都道府県からの来訪者は、いずれも各1人で、「いくち茸」、「五平餅」、「信州牛」、「山賊焼きバーガー」、「味噌パン」、「桃」であった。

11. 木曾路の印象

木曾路の印象を図21に示す。よい印象を持った人はいずれの地域からの来訪者も75%以上となっている。

木曾の印象に対する「理由」の欄に記述されたものを以下に示す。長野県からの来訪者は、「良かった」に対する理由として、「いいです」、「娯楽が増えた」が各1人だった。愛知他からの来訪者は、誰も記入していなかった。その他都道府県からの来訪者は、「良かった」理由として「山があるだけでいい」と1人が記入していた。

木曾町(木曾福島、開田高原または日義木曾駒

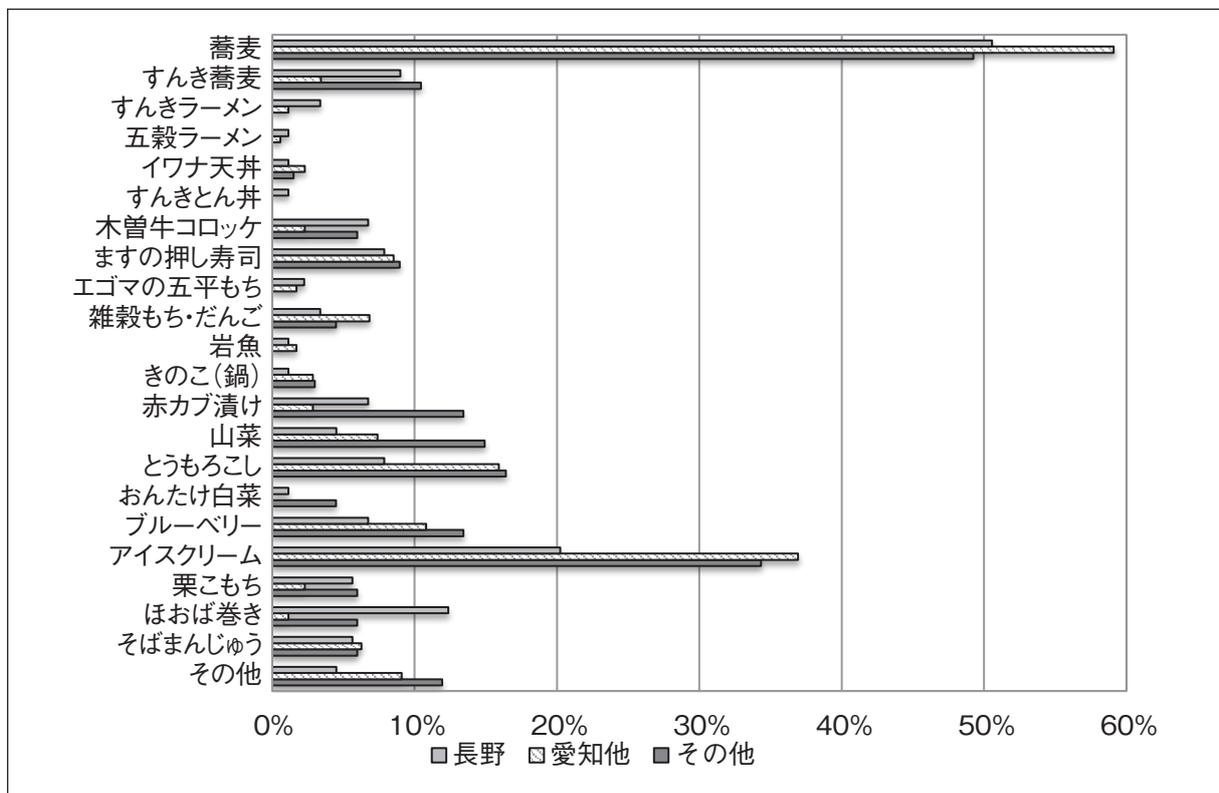


図20 飲食しておいしかったもの(5つまで選択)

高原道の駅)にまた来たいかという問いに対する集計結果を図22に示す。「是非来たい」と「機会があれば来たい」を合計すると、長野県からの来訪者と愛知他からの来訪者は90%を超え、その他都道府県からの来訪者も83%を超えている。

木曾路(地域)に対するご意見は、長野県からの来訪者は1人が「伊那に抜ける交通手段」と記入していた。愛知他からの来訪者は、「御嶽山噴火後の寂れた山百合荘にショックを受けた」、「ガンバツネ」、「涼しい」、「ポケモン」、「まゆちゃんありがとう!」とそれぞれ1人からの記述があった。その他都道府県からの来訪者は、それぞれ1人から、

「ベント情報や遊べる場所の情報がわかりづらいので、ネットでもっと情報を流して欲しい。最新の情報で!!」、「街灯は明るく」、「ちなみに木曾出身です」と記述されていた。

Ⅲ. 調査結果の比較分析 (2014～2016年)

2014年から直近の2016年までの3年間は、4カ所の調査地点(木曾福島地区、道の駅日義、木曾市場、開田高原)において観光客に対するアンケート

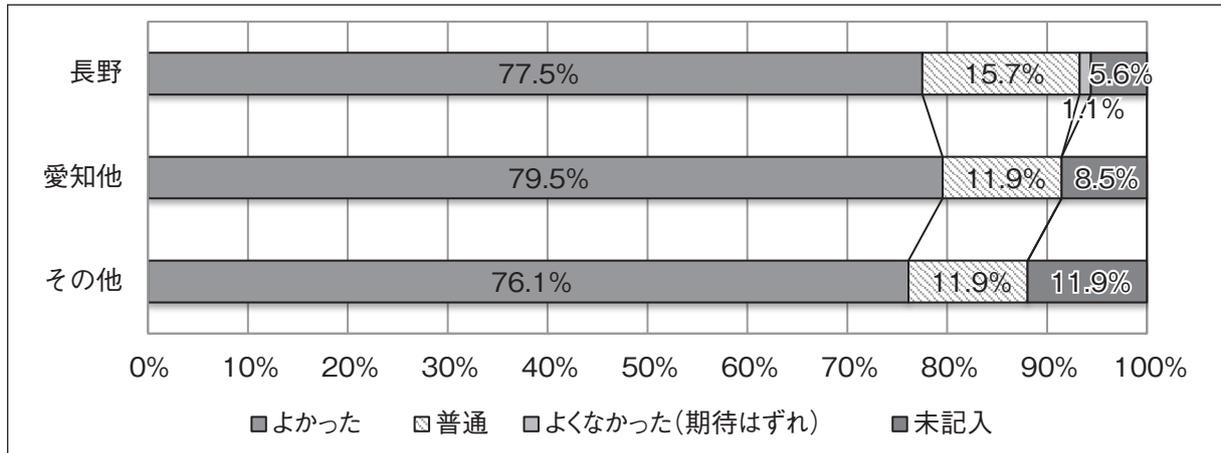


図21 木曾路の印象

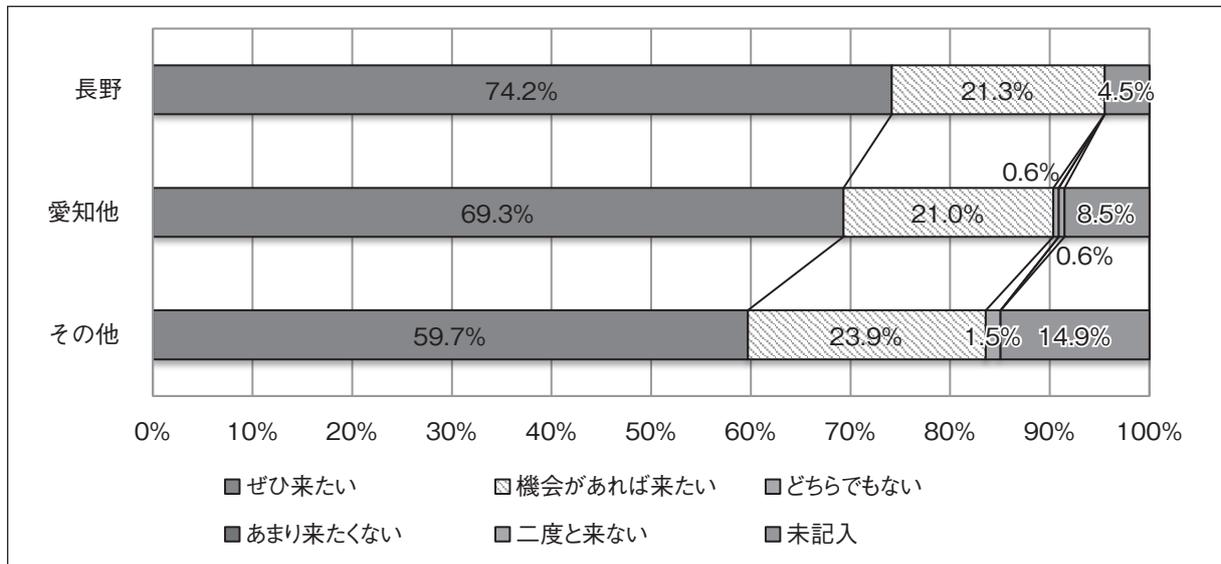


図22 木曾路にまた来たいか

調査を行ってきた。

2014年は7月20日(日)に調査を行った⁴⁾。ただし、人員の問題で木曾福島地区上の段には調査員を配置できなかった。当日の天気は晴れで、木曾福島地区における気温は21.9℃(11時)から24.9℃(14時)、開田高原における気温は20.6℃(11時)から24.1℃(14時)であった。2015年は10月3日(土)に調査を行った⁵⁾。当日の天気は晴れで、木曾福島地区における気温は21.3℃(11時)から24.3℃(14時)、開田高原における気温は16.5℃(11時)から19.5℃(14時)であった。2016年は7月24日(日)に調査を行っ

た。当日の天気は晴れで、木曾福島地区における気温は21.9℃(11時)から24.9℃(14時)、開田高原における気温は20.6℃(11時)から24.1℃(14時)であった。調査活動は3回とも11時頃から15時頃まで行われた。

3年間の来訪者数を比較する際、2016年調査の交通手段の単純集計(長野県、愛知他およびその他都道府県からの来訪者数の合計)で第1位マイカーと第2位バイクの合計者数を用いた。観光バスでの来訪者は、2014年の調査では5人、2015年は1人、2016年は10人で2015年の減少が目につく。鉄道

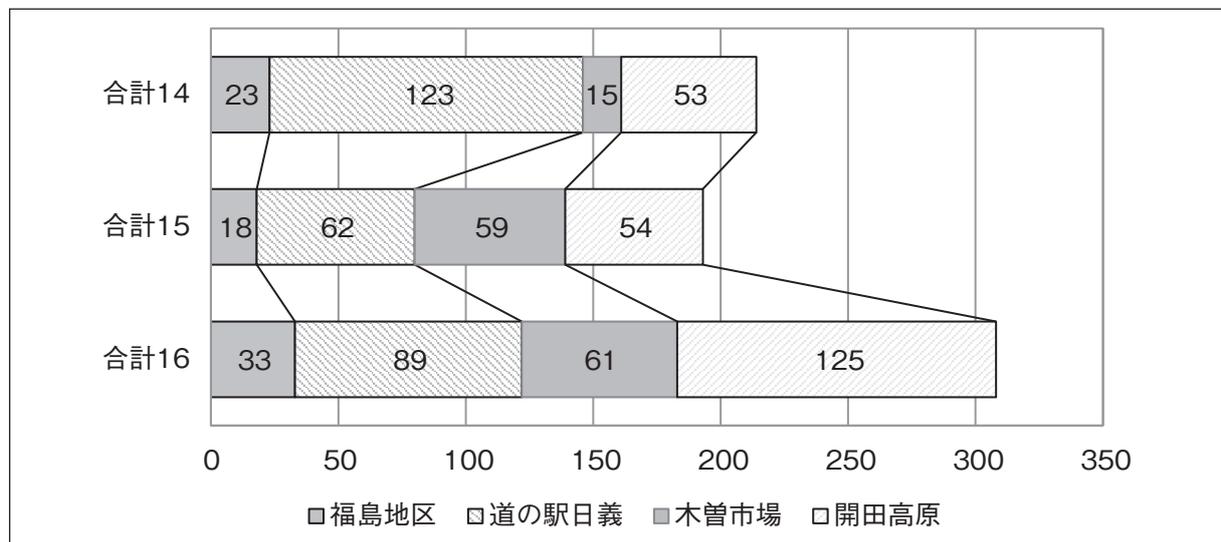


図23a マイカーまたはバイクを利用した来訪者数合計の経年変化

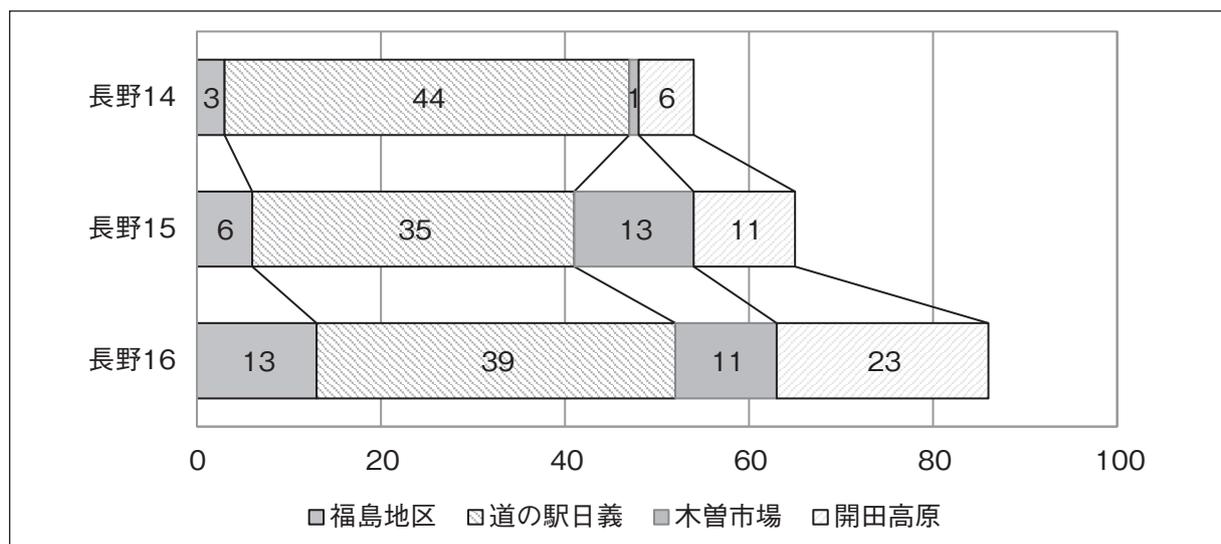


図23b マイカーまたはバイクを利用した長野県からの来訪者数の経年変化

(JR) を利用した来訪者は、2014年10人、2015年8人、2016年8人で、調査年による差はあまりなかった。

図23aにマイカーまたはバイクを利用した来訪者数の合計の経年変化を示す。合計14は2014年の合計を、積み上げ棒グラフの中の数値は該当する調査地点における来訪者数(アンケートに答えてくれた人数)を表す。来訪者数合計は2014年214(23+123+15+53=214)、2015年193(18+62+59+54=193)、2016年308(33+89+61+125=308)であった。図23aからもわ

かるように、御嶽山が噴火した1年後(2015年10月)の調査では、前年度(噴火前の2014年7月)の調査よりも減少している。しかし、2016年10月の調査では、2014年よりも94人増加、つまり44%($94/214=1.44$)増加している。控えめに見ても、来訪者数はほとんど回復していると見て良いのではないだろうか。

以下では、具体的にどの居住地域からの来訪者が増えていると考えられるかを調べる。図23bに長野県からのこの3年間の来訪者数を示している。図23bからわかるように、長野県からの来訪者数は、

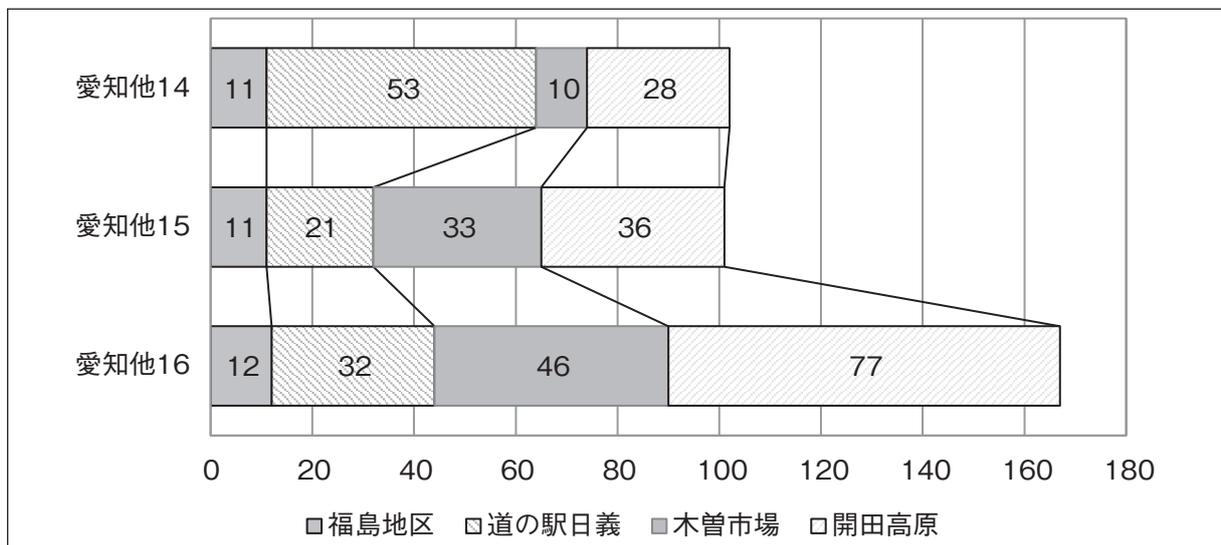


図23c マイカーまたはバイクを利用した愛知他からの来訪者数の経年変化

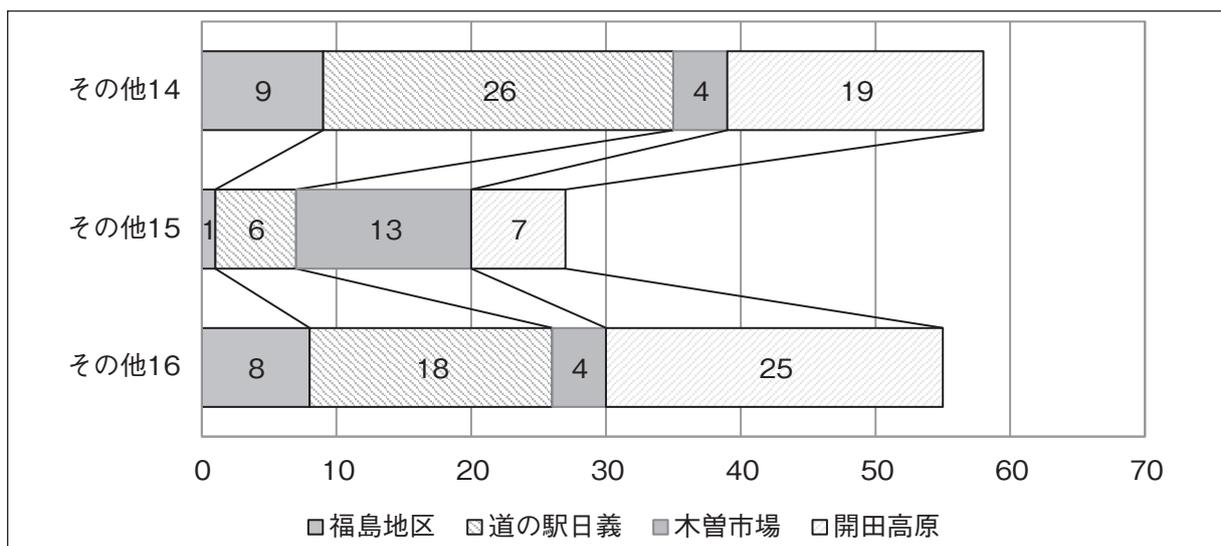


図23d マイカーまたはバイクを利用したその他都道府県からの来訪者数の経年変化

2014年7月54、2015年10月65、2016年7月86と年々増加している。2016年の来訪者数は2014年の1.59倍となっている。

図23cに愛知他からの来訪者数を示す。愛知他からの来訪者数は、2014年7月102人、2015年10月101人、2016年7月167人であった。2015年の調査結果は前年の結果とほとんど変わらないが、2016年の結果は2014年度の結果の1.64 (167/102) 倍と大幅に増加している。

図23dにその他都道府県(その他)からの来訪者数を示す。その他からの来訪者数は、2014年7月58、2015年10月27、2016年7月55であった。2015年の来訪者数は前年と比べると半減している。2016年の来訪者数は2014年のレベルに近づいているが、わずかに3人少なくなっている。

長野県からの来訪者数と愛知他からの来訪者数は、御嶽山が噴火した1年後の調査結果でも、前年よりも増加しているか前年とほとんど同じ来訪者数であった。特に、開田高原への来訪者数では、長野県からの来訪者が前年の1.83 (11/6) 倍、愛知他からの来訪者が1.29倍 (36/28) と増加している。御嶽山を間近に望むことができる九蔵峠にも献花台がもうけられたことが、この結果に関係しているかもしれない。2016年の結果は2014年と比較して、長野県からの来訪者で1.59倍、愛知他からの来訪者で1.64倍といずれも50ポイント以上増加している。この結果は、長野県からの来訪者と愛知他からの来訪者数は増加に転じている可能性があることを示唆している。ただし、2016年7月23日には「みこしまくり」が行われている。そのお祭りに参加した観光客の中で翌日に行われた調査に協力してくれた人たちがこれらの数値を押し上げている可能性はある。木曾を訪れた目的(図13参照)の「その他」に対する記述として、「お祭り」と書いた人が、長野県からの来訪者の中に3人、愛知他の中に2人、その他都道府県の中に4人含まれている。

IV. 結

木曾福島地区、開田高原または道の駅日義木曾駒高原への来訪者に対して2016年7月24日(日)に行ったアンケート調査の結果を、長野県、愛知県他2県(愛知、静岡、岐阜)、その他都道府県からの来訪者の3つの居住地域に分けて集計・分析した。7月24日は木曾福島の水無神社の例大祭(22日から23日)の翌日であった。お祭りに参加し翌日のアンケート調査に協力してくれた方が10人前後はいることが、表1b-1、木曾を訪れた目的のその他に対する記述からわかる。

調査地点を福島地区(足湯、上の段、代官屋敷)、道の駅日義、木曾市場、開田高原に分けて、居住地別に来訪者がどの調査地点でアンケートに協力してくれたかを調べた。長野県からの来訪者は人数の多い方から、道の駅日義44.9%(40人)、開田高原27.0%(24人)の順であった。愛知他隣県からの来訪者は、開田高原44.3%(78人)、木曾市場27.8%(49人)の順で、その他都道府県からの来訪者は、開田高原38.8%(26人)、道の駅日義32.8%(22人)の順であった。県外からの来訪者は、開田高原の割合が最も高い。県外からの来訪者にとって、開田高原の自然、そこからの眺望、木曾馬の里、蕎麦、ソフトクリームなどの乳製品などが大きな魅力となっていることを示唆している。長野県からの来訪者ではもっとも比率の高い道の駅日義では、地物の野菜や果物などを多くおいていて、それが県内からの来訪者にとっては魅力となっている。更に、愛知県からの来訪者にとって2番目に比率の高い木曾市場では、野菜、スイカ、果物などは長野県内の他地域の特産物も含めて手広く販売されている。愛知他からの来訪者にとっては、それらの野菜などもお土産として魅力があることを示している。

木曾町への来訪ルートを見てみる(図9から図11c参照)。長野県からの来訪者の往路は「塩尻方面から」28.1%(25人/89人)、「伊那方面から」23.6%(21人/89人)、「中津川方面から」6.7%(6人/89

人)が主な経路となっている。「塩尻方面から」の来訪者(25人)は「塩尻方面へ」17人/25人、「伊那方面から」の来訪者(21人)は「伊那方面へ」14人/21人、「中津川方面から」の来訪者(6人)は「中津川方面へ」5人/6人が帰路をとっている。基本的に行きに通った道を引き返している人が大部分であるようだ。

愛知県他隣県からの来訪者の往路は、「中津川方面から」39.8% (70人/176人)、「高山方面から」8.0% (14人/176人)、「塩尻方面から」4.0% (7人/176人)の順となっている。「中津川方面から」の来訪者(70人)の帰路は「中津川方面へ」51人/70人、「高山方面へ」5人/70人、「伊那方面へ」2人/70人の順となっている。「高山方面から」の来訪者(14人)の帰路は「高山方面へ」4人/14人、「中津川方面へ」3人/14人の順であった。「塩尻方面から」の来訪者(7人)の帰路は「中津川方面へ」3人/7人、「塩尻方面へ」2人/7人の順であった。

その他都道府県からの来訪者の往路は、「伊那方面から」22.4% (15人/67人)、「塩尻方面から」9.0% (6人/67人)、「中津川方面から」7.5% (5人/67人)の順となっている。「伊那方面から」の来訪者(15人)の帰路は「伊那方面へ」が15人/15人であった。「中津川方面から」の来訪者(2人)の帰路は「中津川方面へ」が2人/2人であった。「塩尻方面から」の来訪者(13人)の帰路は「塩尻方面へ」6人/13人、「中津川方面へ」2人/13人の順であった。

現在地への来訪頻度(図12)を見ると、10回以上訪れている来訪者の割合は、長野県内では39.3% (35人/89人)、愛知県他隣県からでは34.1% (60人/176人)で、それぞれの居住地からの来訪者の中で最も高い。3回以上の来訪者をリピーターと呼ぶことにすると、長野県からのリピーターは62.9% (56人/89人)、愛知県他隣県からのリピーターは67.6% (119人/176人)、その他の都道府県からのリピーターは41.8% (28人/67人)となっている。長野県、愛知県他隣県は木曾から近い位置にあるため訪れやすいことから、リピーターも多いことや、何度でも訪れたいような魅力があることが考えら

れる。

来訪者が木曾町に訪れる目的を分析すると、単純集計(507人)ではドライブが44.0% (146人)が最も多く、自然の風景が32.5% (108人)、その他が19.9% (66人)、産地直売品・おみやげが12.0% (40人)、飲食が12.0% (40人)、温泉(足湯を含む)が9.3% (31人)、木曾馬牧場が7.8% (26人)、キャンプが5.7% (19人)、宿場ウォークが3.9% (13人)、溪流釣りが2.4% (8人)、登山とトレッキングがともに1.5% (5人)の順であった。

来訪目的を居住地別に見てみると(図13参照)、長野県からの来訪者は、ドライブ44.9% (40人)、自然の風景21.3% (19人)、その他19.1% (17人)、産地直売品・おみやげ13.5% (12人)、飲食10.1% (9人)、木曾馬牧場6.7% (6人)、温泉(足湯を含む)と溪流釣り3.4% (3人)、宿場ウォークと登山とキャンプ2.2% (2人)、トレッキング1.1% (1人)の順であった。

愛知県他隣県からの来訪者は、ドライブ47.7% (84人)、自然の風景35.2% (62人)、その他19.9% (35人)、飲食14.2% (25人)、産地直売品・おみやげ11.4% (20人)、温泉(足湯を含む)9.7% (17人)、キャンプ8.0% (14人)、木曾馬牧場6.8% (12人)、溪流釣り1.7% (3人)、登山とトレッキングと宿場ウォーク1.1% (2人)の順であった。

その他の都道府県からの来訪者は、自然の風景40.3% (27人)、ドライブ32.8% (22人)、その他20.9% (14人)、温泉(足湯を含む)16.4% (11人)、宿場ウォーク13.4% (9人)、木曾馬牧場と産地直売品・おみやげ11.9% (8人)、飲食9.0% (6人)、キャンプ4.5% (3人)、溪流釣りとトレッキング3.0% (2人)、登山1.5% (1人)の順であった。

未記入を除いて有効回答(302)の金額の区間の中央値を用いて、来訪者の旅費と宿泊費を除く1人当たりの予算(旅行予算)の平均値を求めてみる。2万円以上の区間では、中央値として2通りの値30,000(25,000)円を用いて計算した。

長野県からの来訪者(82人)の旅行予算の平均

値は5,549円(5,427円)、愛知他隣県からの来訪者(163人)の旅行予算の平均値は10,261円(9,627円)、その他都道府県からの来訪者(57人)の旅行予算の平均値は18,290円(16,360円)となる。全来訪者(302人)の旅行予算の平均値は10,497円(9,768円)となる。

旅費と宿泊費を除く旅行の1人当たりの予算の中に含まれるお土産代についても有効回答(293)の金額の区間の中央値を用いて、来訪者1人当たりが使うお土産代の平均値を求めてみる。ただし、1万円以上の区間の中央値としては2通りの値15,000円(12,500円)を用いて計算した。

長野県からの来訪者(79人)のお土産代の平均値は2,165円(2,133円)、愛知他隣県からの来訪者(157人)のお土産代の平均値は3,764円(3,541円)、その他都道府県からの来訪者(57人)のお土産代の平均値は5,000円(4,693円)となる。全来訪者(293人)のお土産代の平均値は3,573円(3,386円)となる。

2014年7月、2015年10月および今回の2016年7月の調査結果の中から、それぞれの年ごとに、マイカー利用者とバイク利用者の人数を合計した。そして、その数の変動を調べることによって、御嶽山噴火による来訪者数に対する影響を見積もった(図23aから図23d参照)。

長野県からの来訪者数は、2014年7月54人、2015年10月65人、2016年7月86人と年々増加し、2016年の来訪者数は2014年の1.59倍となっている。愛知他からの来訪者数は、2014年7月102人、2015年10月101人、2016年7月167人であった。2015年の調査結果は前年の結果とほとんど変わらないが、2016年の結果は2014年度の結果の1.64(167/102)倍と大幅に増加している。その他都道府県からの来訪者数は、2014年7月58人、2015年10月27人、2016年7月55人であった。2015年の来訪者数は前年と比べると半減している。2016年の来訪者数は2014年のレベルに近づいているが、増加するまでには至っていない。これらのデータから、長野県か

らの来訪者と愛知他からの来訪者は増加に転じている可能性が高いと考えられるが、その他都道府県からの来訪者に関しては増加に転じているとは言い難い。木曾町で行ってきた御嶽山噴火に対する対策などの情報がその他都道府県の方々には十分には伝わっていないことを示しているかもしれない。

本調査においては、松本大学総合経営学部総合経営学科の葛西ゼミナール、成ゼミナール、総合経営学部観光ホスピタリティ学科の眞次ゼミナールの学生、そして松商学園高等学校ビジネス情報技術部(BIT部)の生徒が調査員として参加した。

なお、本報告書はアンケート調査に基づく観光客の動向分析という共同研究の性格上、各著者の分担を明確に分別できないことをお断りしておく。

最後に、本アンケート調査実施に当たり、木曾町役場観光交流課課長安藤清美様ほか木曾町役場の皆様、アンケート調査地点の関係者の皆様、そしてアンケート調査回答者の皆様の多大なご協力をいただいたことを心より感謝申し上げます。

文献

- 1) 鈴木尚通、葛西和廣、田中正敏、成 耆政、佐藤進、木曾町における観光客の動向に関する調査・研究 (I)、松本大学研究紀要、第10号、2012年、pp.119-143
- 2) 鈴木尚通、葛西和廣、田中正敏、成 耆政、佐藤進、木曾町における観光客の動向に関する調査・研究 (II)、松本大学研究紀要、第11号、2013年、pp.117-143
- 3) 葛西和廣、田中正敏、成 耆政、佐藤進、鈴木尚通、木曾町における観光客の動向に関する調査・研究 (III)、松本大学研究紀要、第12号、2014年、pp.135-157
- 4) 葛西和廣、成 耆政、横山満、樋口剛志、鈴木尚通、木曾町における観光客の動向に関する調査・研究 (IV)、松本大学 地域総合研究、第16号、2015年、pp.101-131
- 5) 眞次宏典、葛西和廣、成 耆政、横山満、樋口剛志、鈴木尚通、木曾町における観光客の動向に関する調査・研究 (V)、松本大学 地域総合研究、第17号、2016年、pp.105-131

松本大学・松商学園高等学校 2016.7.24(日)

アンケート調査 (木曾福島地区、道の駅日義、木曾市場、開田高原を訪れた方対象)

Q0 調査地点：福島地区(①足湯, ②上の段, ③代官屋敷) ④道の駅日義 ⑤木曾市場 ⑥開田高原

Q1 お住まい(ご自宅)はどちらですか

①都道府県 1)長野県 2)愛知県 3)岐阜県 4)静岡県 5)その他() 都・道・府・県)
②市町村 () 市・町・村) 6)海外()

Q2 ①性別と②年齢を教えてください

①性別 1)男 2)女
②年齢 1)20歳未満 2)20歳代 3)30歳代 4)40歳代 5)50歳代
6)60歳代 7)70歳以上

Q3 今回の旅行に関する次の質問にお答えいただけますか

①日程： 1)日帰り 2)1泊2日 3)2泊3日 4)3泊4日以上
②今日は：1)1日目 2)2日目 3)3日目 4)4日目以上
③宿泊地：a) 1泊目 1)木曾町 2)その他[] b) 2泊目 1)木曾町 2)その他[]
④観光コース： 1日目() → 2日目()
→ 3日目() → 4日目以降()

Q4 現在地(福島地区、道の駅日義、木曾市場、または開田高原)で何時間ぐらい過ごされますか

1)30分未満 2)30分以上～1時間未満 3)1時間以上～2時間未満
4)2時間以上～3時間未満 5)3時間以上～4時間未満 6)4時間以上

Q5 どなたと旅行されていますか

1)単独 2)友人知人 3)家族(子連れ) 4)家族(大人のみ) 5)夫婦
6)カップル(未婚) 7)職場団体 8)ツアー団体 9)その他()

Q6 主な交通手段は何ですか

1)マイカー 2)バイク 3)自転車 4)観光バス 5)鉄道(JR) 6)中央高速バス
7)タクシー 8)その他()

Q7 今回の旅行でどのようなルートを使っていますか(予定を含む)

①往路：a 高速道路を利用しましたか [1)はい, 2)いいえ] 1)はいの方はbへ, 2)いいえの方はcへ!

b: 1)中央自動車道 2)長野自動車道 3)東名自動車道 4)その他()
c: 1)塩尻方面から(R19) 2)中津川方面から(R19) 3)伊那方面(権兵衛トンネル)から
4)高山方面 5)その他()

②帰路：a 高速道路を利用しますか [1)はい, 2)いいえ] 1)はいの方はbへ, 2)いいえの方はcへ!

b: 1)中央自動車道 2)長野自動車道 3)東名自動車道 4)その他()
c: 1)塩尻方面へ(R19) 2)中津川方面へ(R19) 3)伊那方面(権兵衛トンネル)へ
4)高山方面へ 5)その他()

Q8 現在地(木曾福島、道の駅日義、木曾市場、開田高原)に今までに何回来たことがありますか

1)はじめて 2)2回目 3)3～5回目 4)6～9回目 5)10回以上

Q9 木曾町を訪れた目的は何ですか (3つまで選んでください)

①自然の風景 ②ドライブ ③木曾馬牧場 ④温泉(足湯も含む) ⑤宿場ウォーク
⑥トレッキング ⑦登山 ⑧溪流釣り ⑨キャンプ ⑩産地直売品・おみやげ
⑪飲食() ⑫その他()

□ Q10 今回の旅行で訪れた(訪れる予定の)場所を教えてください (5つまで選んでください)。

- | | | | | |
|-----------------------|----------------|-------------------|-------------------|----------|
| 1) 木曾くらしの工芸館(道の駅ならかわ) | 2) 平沢漆器街 | 3) 奈良井宿 | 4) 鳥居峠 | |
| 5) やぶはら高原(こだまの森) | 6) 藪原宿 | 7) 義仲館 | 8) 福島関所 | |
| 9) 山村代官屋敷 | 10) 上の段の街並み | 11) 興禅寺 | 12) ふるさと体験館きそふくしま | |
| 13) 開田高原(九蔵峠展望台を含む) | 14) 木曾馬の里 | 15) やまゆり荘 | 16) 木曾駒高原 | |
| 17) 彩菜館 | 18) 道の駅日義木曾駒高原 | 19) 道の駅木曾福島(木曾市場) | 20) 道の駅三岳 | |
| 21) 御嶽山 | 22) 御岳ロープウェイ | 23) 御嶽神社 | 24) 油木美林 | 25) 寝覚の床 |
| 26) 赤沢自然休養林 | 27) 道の駅大桑(木楽舎) | 28) フォレスパ木曾 | 29) 桃介橋 | 30) 妻籠宿 |
| 31) 馬籠宿(藤村記念館) | 32) その他 () | | | |

□ Q11 どこで現在地(木曾福島, 道の駅日義, 開田高原等)の情報を集めましたか (3つまで)

- | | | | | |
|-----------------|------------|------------|----------|-------------|
| 1) ここに来てはじめて知った | 2) 口コミ | 3) ガイドブック | 4) 観光パンフ | 5) 道沿いの看板 |
| 6) 新聞・チラシ | 7) インターネット | 8) テレビ・ラジオ | 9) 以前来た | 10) その他 () |

□ Q12 今後この地域のどんな地域情報がほしいですか (3つまで選んでください)

- | | | | |
|------------|---------------|--------------|---------------|
| 1) 温泉施設 | 2) 自然にふれあえる場所 | 3) 食事の楽しめる場所 | 4) 季節のイベントや催し |
| 5) 農産物直売所 | 6) 地元民との交流 | 7) 空き家(移住)情報 | 8) ドライブコース・道路 |
| 9) その他 () | 10) 必要ない | 11) わからない | |

□ Q13a 今回の旅行で(旅費, 宿泊費を除く)予算は1人当たり大体いくらですか

- | | | |
|----------------|--------------|----------------|
| 1) 5千円未満 | 2) 5千円~1万円未満 | 3) 1万円~1万5千円未満 |
| 4) 1万5千円~2万円未満 | 5) 2万円以上 | |

□ Q13b そのうち, お土産代はいくらくらいですか

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1) 2千円未満 | 2) 2千円~4千円未満 | 3) 4千円~6千円未満 |
| 4) 6千円~8千円未満 | 5) 8千円~1万円未満 | 6) 1万円以上 |

□ Q14 お土産にどんなものを探していますか

□ Q15 この地域で食べたもので, 何がおいしかったですか (5つまで選んでください)

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 1) 蕎麦 | 2) すんき蕎麦 | 3) すんきラーメン | 4) 五穀ラーメン | 5) 岩魚天井 |
| 6) すんきとん井 | 7) 木曾牛コロケ | 8) エゴマの五平もち | 9) 雑穀もち・だんご | 10) 岩魚 |
| 11) ますの押し寿司 | 12) きのこと(鍋) | 13) 赤カブ漬 | 14) 山菜 | 15) とうもろこし |
| 16) おんたけ白菜 | 17) ブルーベリー | 18) アイスクリーム | 19) 栗こもち | 20) ほおば巻き |
| 21) そばまんじゅう | 22) その他 () | | | |

□ Q16 木曾路(地域)の印象はいかがですか

- | | | |
|---------|-------|--------------------------|
| 1) 良かった | 2) 普通 | 3) 良くなかった(期待はずれ) →理由 () |
|---------|-------|--------------------------|

□ Q17 また木曾路(地域)に来たいと思いますか

- | | | | |
|-----------|--------------|------------|-------------|
| 1) ぜひ来たい | 2) 機会があれば来たい | 3) どちらでもない | 4) あまり来たくない |
| 5) 二度と来ない | | | |

□ Q18 木曾路(地域)に対するご意見

ご協力ありがとうございました。